

—目次—

1	はじめに.....	1-1
2	概要.....	2-1
2.1	全体構成.....	2-1
2.2	動作環境.....	2-1
3	インストール／アンインストールについて.....	3-1
3.1	インストール手順.....	3-1
3.2	アンインストール手順.....	3-3
3.3	再インストール手順.....	3-3
4	起動／終了方法について.....	4-1
4.1	起動方法.....	4-1
4.2	終了方法.....	4-2
5	試験手順について.....	5-1
6	試験画面について.....	6-1
6.1	試験画面構成.....	6-1
6.2	タイトルについて.....	6-1
6.3	メニュー.....	6-2
7	着呼試験結果(事前・事後)比較モード.....	7-1
7.1	試験タイプ／モード切替設定について.....	7-1
7.2	比較方法設定について.....	7-2
7.3	事前試験結果ファイルロードについて.....	7-3
7.4	ASCOT情報の読込みについて.....	7-4
7.5	試験リストの読込みについて.....	7-6
7.6	試験リストの保存について.....	7-7
7.7	試験の実行について.....	7-8
7.7.1	事前試験の実行.....	7-8
7.7.2	着呼回数の指定.....	7-9
7.7.3	事前試験の終了確認.....	7-10
7.7.4	事後試験の実行.....	7-11
7.8	試験の停止について.....	7-12
7.9	試験結果の保存について.....	7-13
7.9.1	保存内容.....	7-14
7.10	試験リストについて.....	7-15
7.10.1	試験リストのソート.....	7-17
7.11	試験項目設定について.....	7-18
7.11.1	試験項目一括変更.....	7-23
7.12	試験電話番号削除について.....	7-24

—目次—

7.12.1	削除	7-24
7.12.2	全削除	7-25
7.13	試験リスト絞込みについて	7-26
7.14	試験結果表示について	7-30
7.14.1	画面更新	7-32
7.14.2	印刷	7-32
7.14.3	印刷プレビュー	7-33
7.14.4	プリンタの設定	7-34
7.14.5	余白設定	7-34
7.14.6	元に戻す	7-35
7.14.7	削除	7-35
7.15	比較結果表示について	7-36
7.15.1	画面更新	7-38
7.15.2	印刷プレビュー	7-38
7.15.3	削除	7-39
7.16	比較集計結果表示について	7-40
7.17	SETUP 内容設定について	7-43
7.18	判定基準設定について	7-45
7.19	アクション設定について	7-49
7.20	新収容位置アクション登録について	7-53
7.20.1	ASCOT 情報読み込み	7-56
7.20.2	保存データ読み込み	7-58
7.20.3	アクション情報入力設定	7-59
8	着呼試験モード	8-1
8.1	試験の実行について	8-2
8.2	試験の停止について	8-3
8.3	試験結果の保存について	8-4
8.3.1	保存内容について	8-4
8.4	試験リストについて	8-5
8.5	試験時刻設定について	8-7
9	ISDN ターミナルアダプタ (TA) の異常監視について	9-1

1 はじめに

この取扱説明書は、ISDN着呼分析試験ツール(I-CAT-TA)「バージョン 1.0.0.0」(以下「I-CAT-TA」と略記する)について説明します。

本機能をご使用する前に必ずお読み下さい。

●取扱注意事項

1. 必ず以下のターミナルアダプタ(TA)およびドライバをお使い下さい。

ターミナルアダプタ(TA):「Aterm IT21L PC-IT21D1L(PW)」

ドライバ:ターミナルアダプタ(TA)付属の CD よりインストールしてください

注意 上記以外のターミナルアダプタ(TA)もしくはドライバは、使用しないで下さい。

また、上記ターミナルアダプタ(TA)もしくはドライバの着脱に関しては、別途同製品の取扱説明書に従って正しく行ってください。

2. 使用可能OSはWindows®8.1/8、Windows®7、Windows Vista®、Windows®XP です。

3. ディスプレイの解像度は 800×600 以上で使用して下さい。これより粗い解像度ですと設定できない項目が生じる場合があります。

4. パワーセービング機能は使用しないでください。パワーセービングが起動された場合、ターミナルアダプタ(TA)の電源供給が切れてしまうため試験が実行できなくなります。

5. スクリーンセーバーは使用しないでください。試験実行中にスクリーンセーバーが起動されると試験実行が中断されてしまう可能性があります。

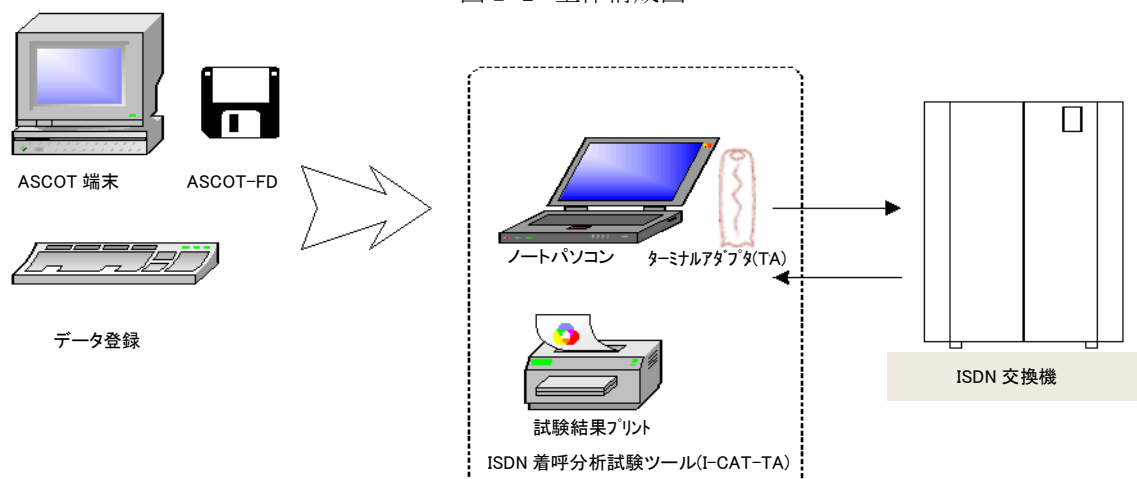
6. 本ツールに、ASCOT データ読み込みと表示されている部分は、ASCOT の出力データフォーマットで登録されているデータを示します。他の電番データを利用する場合は ASCOT の出力データフォーマットに準じてデータ作成願います。

2 概要

I-CAT-TA は、交換機移行に伴う巻き取り検証をスムーズに行う為のツールです。本ツールは Microsoft Windows ベースのパソコンで動作し、GUI ベースの操作により各種の巻き取り時の動作検証を行います。

2.1 全体構成

図 2-1 全体構成図



2.2 動作環境

I-CAT-TA の動作環境一覧表を表 2-1 に示します。

表 2-1 動作環境一覧表

項目	内容
OS	Windows®8.1/8、Windows®7、Windows Vista®、Windows®XP※ ※出荷時期によりバージョンアップが必要な場合があります。 Windows®8.1/8 の対応する Edition は、 Windows®8.1/8 32bit (x86) 日本語版です。 (Windows®8.1/8 Pro、Windows®RT、Windows® 8.1/8 Enterprise には対応していません。) Windows®7 の対応する Edition は、 Windows®7 Home Premium 32bit (x86) 日本語版です。 Windows Vista®の対応する Edition は、 Windows Vista®Home Basic 32bit (x86) 日本語版 Windows Vista®Home Premium 32bit (x86) 日本語版です。 64bit(x64)版には対応していません
ディスプレイ	ノートパソコン時 解像度 800×600 (13.3 インチ TFT 液晶) 以上
CPU	INTEL Mobile Celeron 266MHz 相当品以上
メモリ	64MB 以上
ディスク	空き容量 30MB 以上
ターミナルアダプタ (TA)	NEC 社製「Aterm IT21L PC-IT21D1L (PW)」
プリンタ	USB 接続プリンタ等

以下の環境下で動作は確認済みです。

OS	: Windows®7 Home Premium
CPU	: 1GHz 以上の 32 ビット(x86)プロセッサ
メモリ	: 1GB RAM
ターミナルアダプタ(TA)	: NEC 社製「Aterm IT21L PC-IT21D1L (PW)」

3 インストール／アンインストールについて

本章では、I-CAT-TAのインストール手順ならびにアンインストール手順を説明します。

3.1 インストール手順

I-CAT-TAのインストール手順を以下に記述します。

まず、NEC 社製ターミナルアダプタ(TA)用のドライバーがインストールされていることを確認してください。インストールされていない場合は、インストールを行って下さい。

(インストール方法は、上記 ターミナルアダプタ(TA)の取扱説明書の「ドライバーのインストール方法」を参照して下さい。)

ドライバーがインストールされていることを確認した後、以下の手順に従ってI-CAT-TA のインストールを行って下さい。

- (1) I-CAT-TAのセットアップディスク(CD)をCD-ROMドライブにセットします。
- (2) CDが自動再生されますので[install.exe の実行..]をクリックします。
- (3) I-CAT-TAのセットアップが起動され、「回線自動試験ツール(I-CAT-TA)セットアップウィザードへようこそ」画面が表示されますので、[次へ(N) >]ボタンをクリックします。
※「Microsoft .NET Framework 4.5 日本語 Language Pack」がインストールされていない環境下では、「Microsoft .NET Framework 4.5 日本語 Language Pack」のインストールから開始します。
- (4) 「インストール先の選択」画面が表示されますので、インストール先を指定し、[次へ(N) >]ボタンをクリックします。インストール先は“C:¥Program Files¥Tokyo Communication Equipment MFG. Co. LTD¥I-CAT-TA¥”に設定されており、変更することはできません。
- (5) 「インストールの確認」画面が表示されますので、[次へ(N) >]ボタンをクリックします。
- (6) インストールが開始されます。
- (7) セットアップが終了すると、「C:¥Program Files¥Tokyo Communication Equipment MFG. Co. LTD¥I-CAT-TA¥ocx¥MSFlxGrd.Ocx のDllRegisterServer は成功しました。」画面が表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。
- (8) 「インストールが完了しました」画面が表示されますので、[閉じる]ボタンをクリックします。

以上で、I-CAT-TAのセットアップは完了です。

続けて「Adobe Reader XI」をインストールする場合、以下の手順に従ってインストールを行ってください。

※既に「Adobe Reader」がインストールされている場合は、誤って「Adobe Reader」をアンインストールされないようご注意ください。

- (1) Adobe Reader XIのセットアップが起動され、「Adobe Reader XIをインストールする用意ができました」画面が表示されますので[次へ(N) >]ボタンをクリックします。
- (2) 「アップデートを自動的にインストールする(推奨)(A)」を選択して、[インストール(I)]ボタンをクリックしてください。
- (3) インストールが開始されます。
- (4) 「セットアップ完了」画面が表示されますので、[完了(F)]ボタンをクリックしてください。

以上で、Adobe Reader XIのセットアップは完了です。

Adobe Reader XIのセットアップが完了すると、「Adobe Reader XI—パーソナルコンピューターでの使用に関する配付の使用許諾契約」画面が表示されますので、[同意する]ボタンをクリックしてください。

その後、「I-CAT-TA インストール後の設定変更について」資料が表示されます。

表示された「I-CAT-TAインストール後の設定変更について」資料に従い、I-CAT-TAを管理者権限で実行するための設定を行ってください。

以上で、I-CAT-TAのインストール手順は完了です。

3.2 アンインストール手順

I-CAT-TAのアンインストール手順を以下に記述します。

- (1) スタートメニューの [コントロールパネル]を選択し、『コントロールパネルウィンドウ』を開きます。
- (2) コントロールパネルの[プログラムと機能]を選択すると、『プログラムのアンインストールまたは変更』ダイアログが表示されます。
- (3) リストの中から「回線自動試験ツール(I-CAT-TA)」を選択し、「アンインストール」ボタンをクリックします。
- (4) 「回線自動試験ツール(I-CAT-TA)をアンインストールしますか？」画面が表示されますので、[はい(Y)]ボタンをクリックするとアンインストールが開始されます。

3.3 再インストール手順

すでにI-CAT-TAがインストールされているパソコンに、新しいバージョンのソフトを再インストールするための手順を以下に記述します。

- (1) 「3.2 アンインストール手順」に従い、すでにセットアップされているI-CAT-TAをパソコン上から削除します。
- (2) 新しいバージョンのI-CAT-TA のセットアップCDを使用し、「3.1 インストール手順」に従い、セットアップを行います。

以上で再インストールは終了です。

4 起動／終了方法について

本章では、I-CAT-TAの起動方法および終了方法について説明します。

4.1 起動方法

スタートメニューから[プログラム(P)]-[ISDN着呼分析試験ツール(I-CAT-TA)]-[回線自動試験ツール]を選択すると、I-CAT-TA が起動されます。I-CAT-TA が起動されると図 4-1 のメッセージが表示され、図 4-2 の画面が表示され試験タイプ／モード切替設定(「7.1 試験タイプ／モード切替設定について」参照)待ちの状態となります。

図 4-1 起動メッセージ

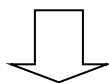
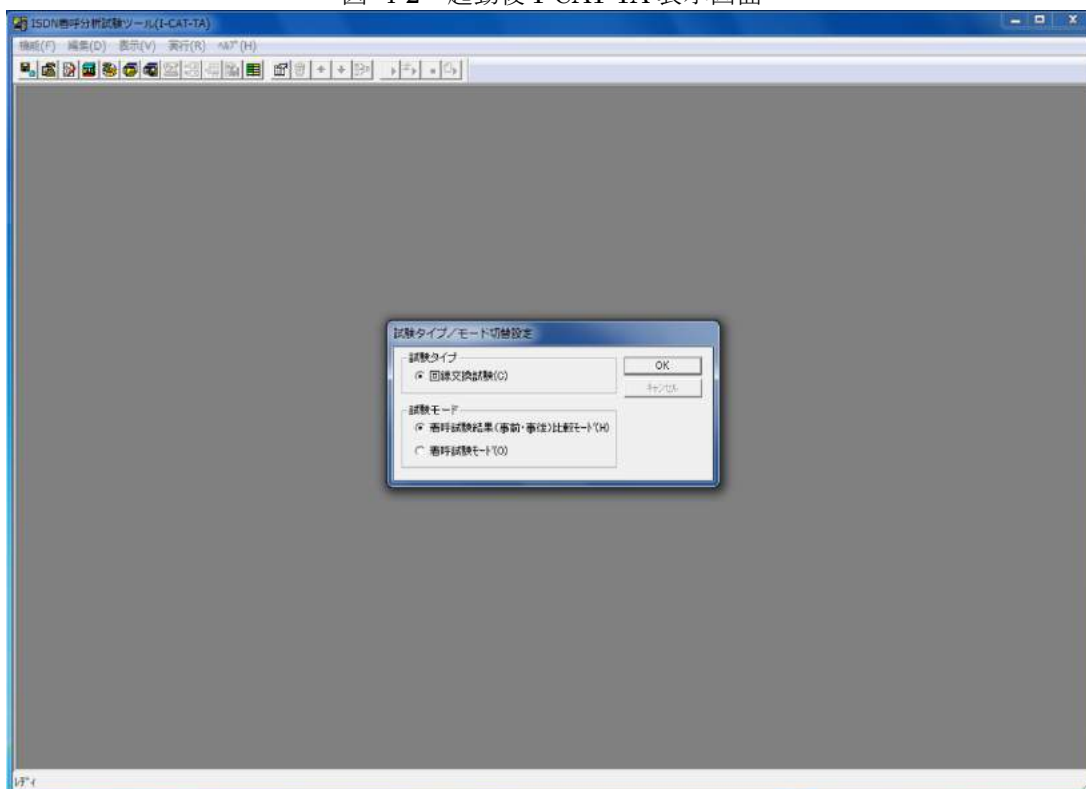


図 4-2 起動後 I-CAT-TA 表示画面



4.2 終了方法

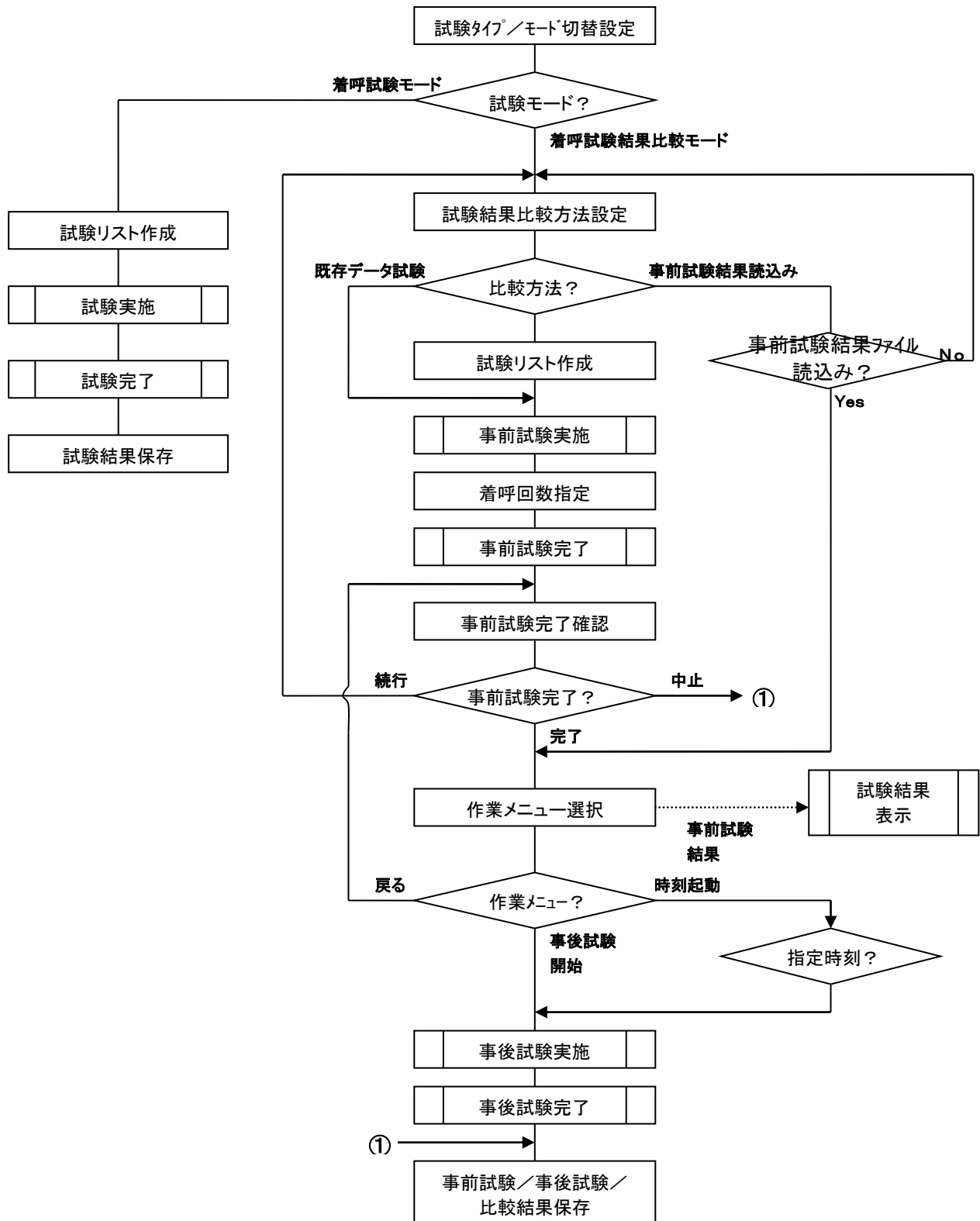
メニューの[機能(F)]-[アプリケーションの終了(X)]を選択すると、図 4-3 のメッセージが表示されますので、終了する場合は「はい(Y)」を、キャンセルする場合は「いいえ(N)」をクリックします。「はい(Y)」をクリックするとアプリケーションは終了します。

図 4-3 ISDN着呼分析試験ツール(I-CAT)終了確認



5 試験手順について

I-CAT-TAは、オペレータがいろいろな設定を行わなくても試験が実行可能なように作成されています。以下に基本的な試験手順を記述します。



- (1) I-CAT-TA を起動させます。
 - (2) 試験モードを設定します。(「7.1 試験タイプ／モード切替設定について」参照)
※試験モードには、「着呼試験結果比較モード」、「着呼試験モード」の2種類のモードがあります。
- 試験モードで「着呼試験結果比較モード」を選択した場合
- (3) SETUP内容設定(「7.17 SETUP 内容設定について」参照), 判定基準設定(「7.18 判定基準設定について」参照), アクション設定(「7.19 アクション設定について」参照)の内容を確認し、変更する場合は設定します。
 - (4) ASCOT データファイルを読み込み(「7.4 ASCOT 情報の読み込みについて」参照)ます。この時、アクション設定で設定されている内容が、読み込んだ ASCOT データに反映され試験リストが構築されます。
 - (5) 事前試験を開始(「7.7.1 事前試験の実行」参照)します。また、事前試験実行中に試験結果を表示または印刷(「7.14 試験結果表示について」参照)することも可能です。
 - (6) 事前試験が終了すると、事前試験終了確認(「7.7.3 事前試験の終了確認」参照)が表示されますので、事前試験が終了した場合「事前試験完了」を、再度事前試験を行う場合は「事前試験続行」を、事前試験のみで試験を終了する場合は「中止」を選択します。
 - (7) 事前試験終了確認で「事前試験完了」を選択すると、作業メニュー選択(「7.7.4 事後試験の実行」参照)が表示されますので、事後試験を開始する場合「事後試験を開始」を選択し「決定」ボタンを、この時点で事前試験結果を表示する場合は「事前試験結果の表示」を選択し「決定」ボタンを、事後試験を時刻起動する場合は開始時刻を設定し「事後試験を時刻指定で開始」を選択し「決定」ボタンを、再度事前試験を行う場合は「戻る」を、ここで試験を終了する場合は「ツール終了」を押下します。
 - (8) 作業メニュー選択で事後試験開始を選択した場合、事後試験が開始されます。また、事後試験実行中に試験結果(「7.14 試験結果表示について」参照)および比較結果(「7.15 比較結果表示について」参照)を表示または印刷することも可能です。
 - (9) 試験が終了したら、事前試験結果、事後試験結果および比較結果を保存します。(「7.9 試験結果の保存について」参照)
 - (10) 比較集計結果(「7.16 比較集計結果表示について」参照)を表示し、分析を行います。このとき比較集計結果を保存します。

■試験モードで「着呼試験モード」を選択した場合

- (1) SETUP内容設定(「7.17 SETUP 内容設定について」参照), 判定基準設定(「7.18 判定基準設定について」参照), アクション設定(「7.19 アクション設定について」参照)の内容を確認し、変更する場合は設定します。
- (2) ASCOT データファイルを読み込み(「7.4 ASCOT 情報の読み込みについて」参照)ます。この時、アクション設定で設定されている内容が、読み込んだ ASCOT データに反映され試験リストが構築されます。
- (3) 試験を実行(「8.1 試験の実行について」参照)します。また、試験実行中に試験結果を表示または印刷(「7.14 試験結果表示について」参照)することも可能です。
- (4) 試験が終了したら、試験結果を保存(「8.3 試験結果の保存について」参照)します。

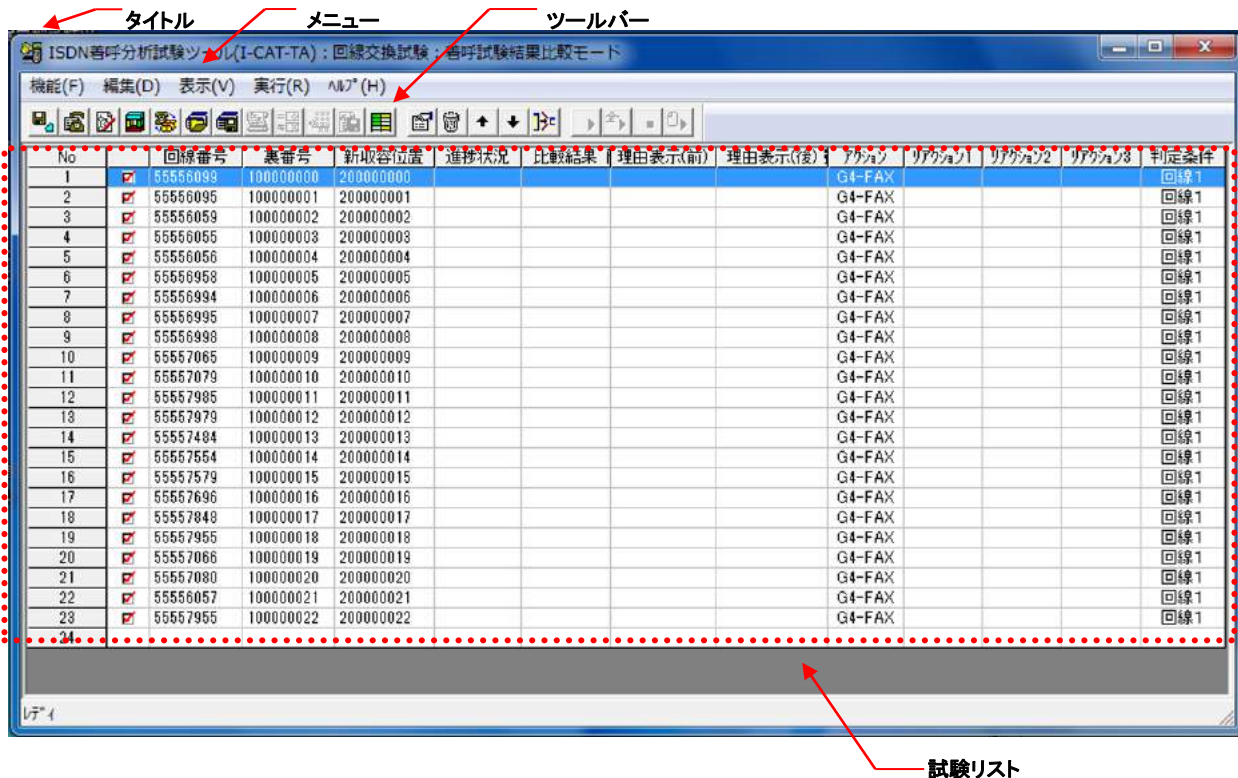
6 試験画面について

ここでは、I-CAT-TA の試験画面構成およびメニューについて説明します。

6.1 試験画面構成

I-CAT-TA の試験画面は、図 6-1 のようにタイトル、メニュー、ツールバー、試験リストで構成されます。

図 6-1 試験画面構成



6.2 タイトルについて

『試験タイプ／モード切替設定』(「7.1 試験タイプ／モード切替設定について」参照)で、指定された試験タイプおよび試験モードにより、図 6-2 のようにタイトルが表示されます。

(ア)試験タイプには「回線交換試験」、試験モードには「着呼試験結果(事前・事後)比較モード」/「着呼試験モード」があります。

図 6-2 タイトル表示

「回線交換試験」+「着呼試験結果(事前・事後)比較モード」選択時

ISDN着呼分析試験ツール(I-CAT-TA) : 回線交換試験 : 着呼試験結果比較モード

「回線交換試験」+「着呼試験モード」選択時

ISDN着呼分析試験ツール(I-CAT-TA) : 回線交換試験 : 着呼試験モード

6.3 メニュー

I-CAT-TAの機能は、メニューの選択およびツールバーの押下にて提供されます。表 6-1 にメニューについて説明します。また、図 6-3 にメニュー表示状態を表示します。

表 6-1 メニューおよびツールバーの説明

メニュー	ツールバー	ショートカット	説明
機能(F)			
ASCOT 情報の読み込み(I)		F2	ASCOT の情報を試験リストへ反映させます。
SETUP 内容設定(S)		Ctrl+S	呼種別単位での SETUP 内容を設定します。
判定基準設定(H)		Ctrl+J	判定名単位での判定基準の設定を行います。
アクション設定(D)		Ctrl+D	アクション単位での試験項目内容の設定を行います。
試験タイプ/モード切替設定(K)		Ctrl+K	試験タイプおよび試験モードの切替を行います。
試験リストの読み込み(R)		Ctrl+R	保存されている試験リスト情報を読み込みます。
試験リストの保存(W)...		Ctrl+W	設定されている試験リスト情報をファイルに保存します。
試験結果表示(L)...		Ctrl+H	試験結果を表示します。
比較結果表示(M)...		Ctrl+M	比較結果を表示します。
比較集計結果表示(N)...		Ctrl+N	比較集計結果を表示します。
試験結果保存(A)...		F4	試験結果を CSV 形式でファイルに保存します。
新収容位置別アクション登録(E)		F9	新収容位置`に対するアクション情報を登録します。
アプリケーションの終了(X)			アプリケーションを終了します。
編集(D)			
設定(S)...		Enter	試験項目の内容を設定します。
削除(D)...		Del	指定された試験項目を削除します。
全削除(A)...		Ctrl+Del	表示されている全試験リストを削除します。
上へ移動(H)		Ctrl+ ↑	指定された試験リストの位置を上へ移動します。
下へ移動(L)		Ctrl+ ↓	指定された試験リストの位置を下へ移動します。
試験リスト絞り込み(O)...		Ctrl+O	全実行する時の試験リストの絞り込みを指定します。
表示(V)			
ツールバー(T)			ツールバーの表示/非表示を設定します。
ステータスバー(S)			ステータスバーの表示/非表示を設定します。
実行(R)			
選択した電話番号の試験実施(S)		F6	試験項目を指定して実行します。
試験リスト電話番号の試験実施(A)		F7	対象試験項目を連続実行します。
停止(E)		F8	試験の停止を行います。
起動時刻設定(C)...		Ctrl+T	試験実行の起動時刻を設定します。

図 6-3 メニュー表示

機能(F)	編集(D)	表示(V)	実行(R)	ヘルプ(H)
ASCOT情報の読み込み(I)				F2
SETUP内容設定(S)				Ctrl+S
判定基準設定(H)				Ctrl+J
アクション設定(D)				Ctrl+D
試験タイプ/モード切替設定(K)				Ctrl+K
試験リストの読み込み(R)				Ctrl+R
試験リストの保存(W)				Ctrl+W
試験結果表示(L)				Ctrl+H
比較結果表示(M)				Ctrl+M
比較集計結果表示(N)				Ctrl+N
試験結果保存(A)				F4
新収容位置別アクション登録(E)				F9
アプリケーションの終了(X)				

編集(D)	表示(V)	実行(R)	ヘルプ(H)
設定(S)			Enter
削除(D)			Delete
全削除(A)			Ctrl+Delete
上へ移動(H)			Ctrl+ ↑
下へ移動(L)			Ctrl+ ↓
試験リスト絞り込み(O)			Ctrl+O

実行(R)	ヘルプ(H)
選択した電話番号の試験実施(S)	F6
試験リスト全電話番号の試験実施(A)	F7
停止(E)	F8
起動時刻設定(C)	Ctrl+T

7 着呼試験結果(事前・事後)比較モード

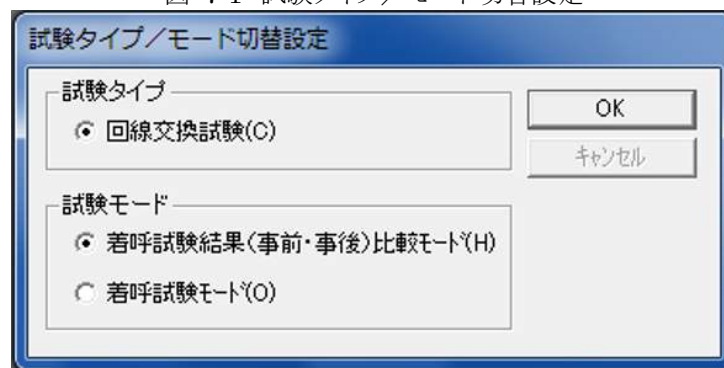
ここでは、「着呼試験結果(事前・事後)比較モード」を実行するための設定方法や操作手順について説明します。

7.1 試験タイプ/モード切替設定について

試験タイプと試験モードの設定又は切替を行います。

- (1) I-CAT-TA起動時およびメニューの[機能(F)]-[試験タイプ/モード切替設定(K)]を選択すると、図 7-1 のダイアログが表示されます。

図 7-1 試験タイプ/モード切替設定



- (2) 試験タイプを選択します。
「回線交換試験」を選択します。
- (3) 試験モードを選択します。
「着呼試験結果(事前・事後)比較モード」または「着呼試験モード」のどちらかを選択します。
- (4) 「OK」をクリックすると設定された試験タイプおよび試験モードで空の試験リストが表示されます。このとき、タイトルに設定した試験タイプおよびモードが表示されます。ただし、試験モードを「着呼試験結果(事前・事後)比較モード」に設定した場合は、『比較方法設定』ダイアログ(「7.2 比較方法設定について」参照)が表示されます。

注意 ・試験リストに試験データが既に登録されている状態で切替を行う場合、既存の試験リストは破棄されます。

- (5) 「キャンセル」をクリックすると設定された試験タイプおよびモードは無効とされ画面が閉じられます。

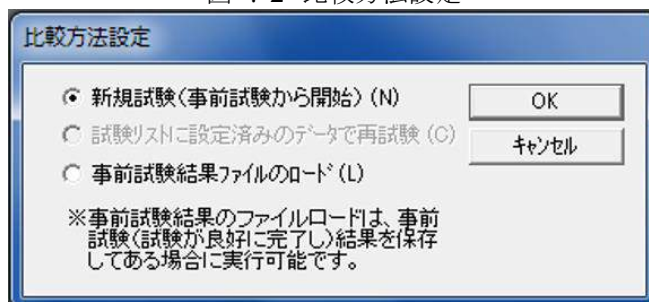
注意 ・起動時には「キャンセル」ボタンは無効状態となっています。

7.2 比較方法設定について

比較方法の設定を行います。

- (1) 『試験タイプ／モード切替設定』ダイアログで試験モードを「着呼試験結果(事前・事後)比較モード」に設定した場合、図 7-2 のダイアログが表示されます。

図 7-2 比較方法設定



- (2) 比較方法を選択します。

「新規試験(事前試験から開始)」、「試験リストに設定済みのデータで再試験」、「事前試験結果ファイルのロード」から選択します。

注意 ・試験リストに設定データがない場合は、「試験リストに設定済みのデータで再試験」項目は無効状態となっています。

- (3) 「OK」をクリックすると設定された比較方法で試験を行います。ただし、比較方法を「事前試験結果ファイルのロード」に設定した場合は、『事前試験結果ファイルのロード』ダイアログ(「7.3 事前試験結果ファイルロードについて」参照)が表示されます。

注意 ・試験リストに設定済みデータがある場合に「新規試験(事前試験から開始)」を選択した場合、既存データは破棄されます。

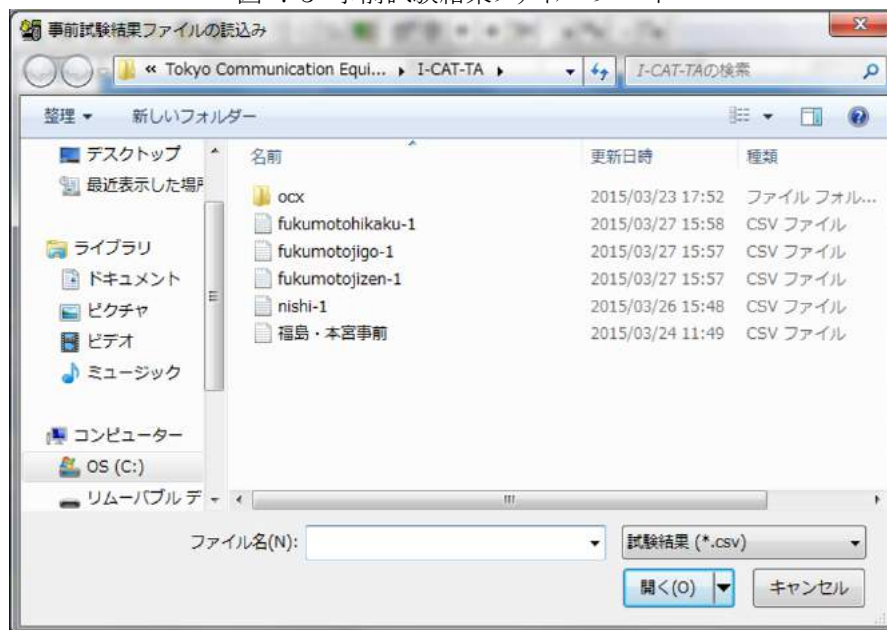
- (4) 「キャンセル」をクリックすると設定された比較方法は無効とされ、『試験タイプ／モード切替設定』に戻ります。

7.3 事前試験結果ファイルロードについて

事前試験結果ファイルを読み込みます。

- (1) 『比較方法設定』ダイアログで比較方法を「事前試験結果ファイルのロード」に設定した場合、図 7-3 のダイアログが表示されます。

図 7-3 事前試験結果ファイルのロード



- (2) 読み込む事前試験結果ファイルを選択した後、「開く(O)」をクリックすると、選択されている事前試験結果ファイルを読み込みます。

注意 指定した事前試験結果ファイルが、正常に読み込めた場合のみ、データを試験リストに表示します。
・試験リストに試験データが設定されている時、事前試験結果ファイルを読み込ませようとした場合、既存データは破棄されます。

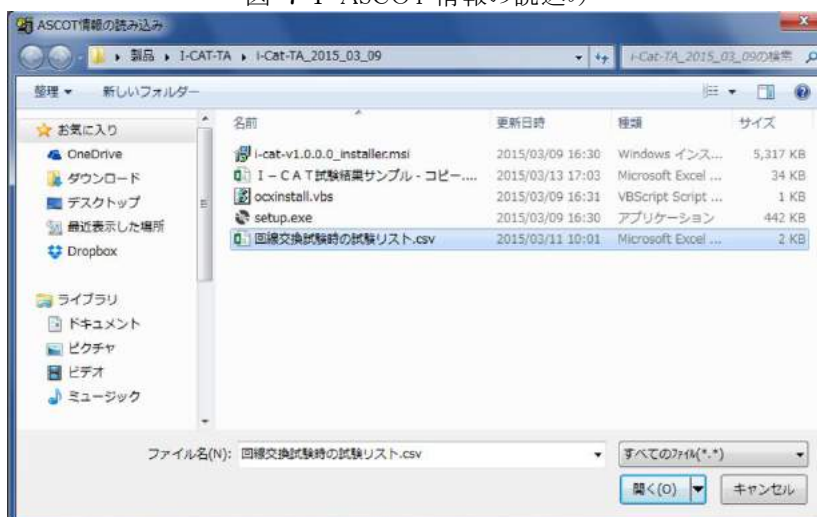
- (3) 事前試験結果ファイルが正しく読み込まれた場合、試験リストに読み込んだデータが反映され、『事後試験開始確認』ダイアログが表示されます。
- (4) 「キャンセル」をクリックすると選択されている事前試験結果ファイルは読み込まれず、『比較方法設定』に戻ります。

7.4 ASCOT 情報の読み込みについて

ASCOT の情報を試験リストへ反映させます。

- (1) メニューの[機能(F)]-[ASCOT 情報の読み込み(I)]を選択、またはF2キーを押下すると、図 7-4 のダイアログが表示され、フロッピーに登録されている ASCOT データファイルの一覧が表示されます。

図 7-4 ASCOT 情報の読み込み



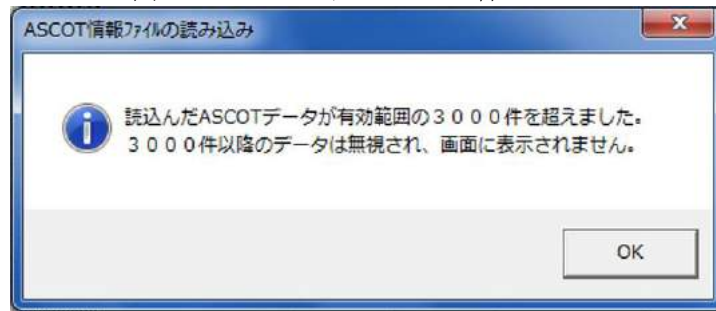
- (2) 読み込む ASCOT データファイルを選択 (複数選択可) した後、「開く(O)」をクリックすると、選択されている ASCOT データファイルを読み込みます。

注意 ・ASCOT データファイルのフォーマットは“,” (カンマ) 区切りのCSV形式とし、規定以外のフォーマットで記述されている場合はエラーとして、オペレータに通知します。

- ・指定した ASCOT データファイルが、全て正常に読み込んだ場合のみ、データを試験リストに表示します。
 - ・同じ回線番号の情報を読み込んだ場合は、既に設定されている試験リストの後に追加されます。このため、同一の回線番号に対する試験が複数存在する場合があります。
-

- (3) また、試験リストには最大3000件のデータまでしか登録できません。読込んだ ASCOT データが3000件を超えた場合は、図 7-のメッセージを表示します。

図 7-5 ASCOT データ 3000 件オーバー



- (4) 読込まれた ASCOT データファイルの内容が正しい場合、試験リストに読込んだデータが図 7-のように反映されます。

図 7-6 ASCOT 情報読み込み後の試験リスト画面

No	回線番号	表番号	新規寄位置	進捗状況	比較結果	理由表示(前)	理由表示(後)	アクション	リアクション1	リアクション2	リアクション3	判定条件
1												



No	回線番号	表番号	新規寄位置	進捗状況	比較結果	理由表示(前)	理由表示(後)	アクション	リアクション1	リアクション2	リアクション3	判定条件
1	5556699	10000000	20000000					G4-FAX				回線1
2	5556695	10000001	20000001					G4-FAX				回線1
3	5556699	10000002	20000002					G4-FAX				回線1
4	5556695	10000003	20000003					G4-FAX				回線1
5	5556695	10000004	20000004					G4-FAX				回線1
6	5556695	10000005	20000005					G4-FAX				回線1
7	5556694	10000006	20000006					G4-FAX				回線1
8	5556695	10000007	20000007					G4-FAX				回線1
9	5556699	10000008	20000008					G4-FAX				回線1
10	5557995	10000009	20000009					G4-FAX				回線1
11	5557979	10000010	20000010					G4-FAX				回線1
12	5557995	10000011	20000011					G4-FAX				回線1
13	5557979	10000012	20000012					G4-FAX				回線1
14	5557484	10000013	20000013					G4-FAX				回線1
15	5557554	10000014	20000014					G4-FAX				回線1
16	5557579	10000015	20000015					G4-FAX				回線1
17	5557696	10000016	20000016					G4-FAX				回線1
18	5557648	10000017	20000017					G4-FAX				回線1
19	5557956	10000018	20000018					G4-FAX				回線1
20	5557666	10000019	20000019					G4-FAX				回線1

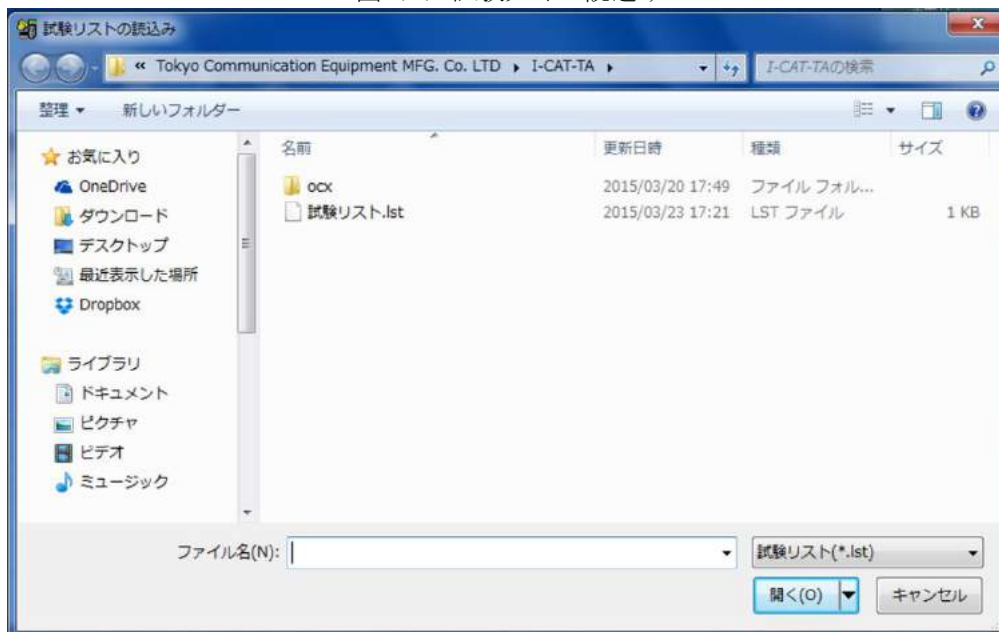
- (5) 「キャンセル」をクリックすると選択されている ASCOT データファイルは読込まれず試験リスト画面に戻ります。

7.5 試験リストの読み込みについて

保存されている試験リストを読み込み、試験リストへ反映させます。

- (1) メニューの[機能(F)]-[試験リストの読み込み(R)]を選択すると、図 7-7のダイアログが表示され、保存されている試験リストファイルの一覧が表示されます。

図 7-7 試験リストの読み込み



- (2) 読み込む試験リストファイルを選択した後、「開く(O)」をクリックすると、選択されている試験リストファイルを読み込みます。

注意

- ・指定した試験リストファイルが、正常に読み込めた場合のみ、データを試験リストに表示します。
- ・試験リストに試験データが設定されている時、試験リストファイルを読み込ませようとした場合、既存データは破棄されます。

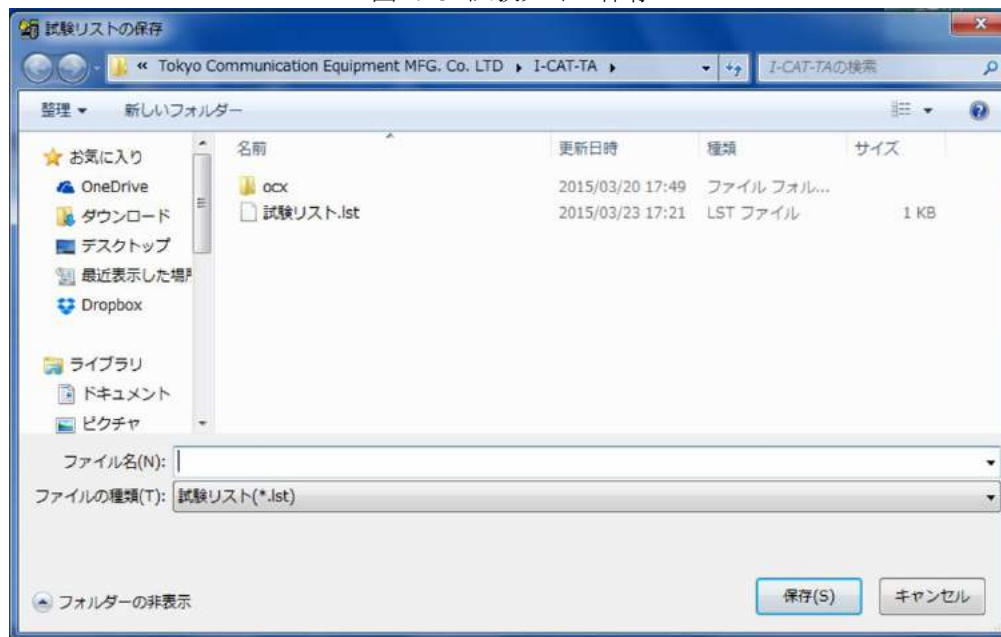
- (3) 試験リストファイルが正しく読み込まれた場合、試験リストに読み込んだデータが反映され、『試験リストの読み込み』ダイアログを閉じます。
- (4) 「キャンセル」をクリックすると選択されている試験リストファイルは読み込まれず、『試験リストの読み込み』ダイアログを閉じます。

7.6 試験リストの保存について

試験リストに設定されている試験電話番号の内容をファイルに保存します。

- (1) メニューの[機能(F)]-[試験リストの保存(W)]を選択すると、図 7-8ダイアログが表示され、保存されている試験リストファイルの一覧が表示されます。

図 7-8 試験リストの保存



- (2) 保存する試験リストのファイル名を入力します。
- (3) 入力したファイル名で保存する場合は「保存(S)」を、保存をキャンセルする場合は「キャンセル」をクリックします。

7.7 試験の実行について

試験の実行には、「選択した電話番号の試験実施」と「試験リスト全電話番号の試験実施」の2種類があります。「選択した電話番号の試験実施」は、試験リスト上で選択されている試験項目の試験を実行します。

「試験リスト全電話番号の試験実施」は、試験リストに登録されている全ての試験項目に対して試験を実行します。

着呼試験比較結果モードの場合、事前と事後の2回の試験を行います。

注意 ・試験リストの「試験の有効／無効」チェックボックスをダブルクリックすると、「試験の有効／無効」設定が有効設定の場合は無効状態に、無効状態の場合は有効状態に切り替ります。また、「試験の有効／無効」設定が無効状態に設定されている場合、該当試験項目の試験は行えません。

7.7.1 事前試験の実行

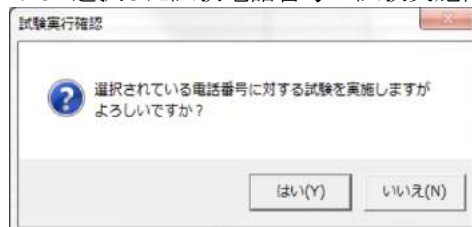
(1) 選択した電話番号の試験実施を行う場合

試験リストで試験を行う電話番号を選択した後、メニューの[実行(R)]-[選択した電話番号の試験実施(S)]を選択、またはF6キーを押下すると、図 7-9のメッセージが表示されます。

「はい(Y)」をクリックすると選択されている電話番号に対する試験が実行されます。ただし、試験タイプが回線交換試験の場合は、『着呼回数指定』ダイアログ(「7.7.2 着呼回数の指定」参照)が表示されます。

「いいえ(N)」をクリックすると試験実行はキャンセルされます。

図 7-9 選択した試験電話番号の試験実施確認

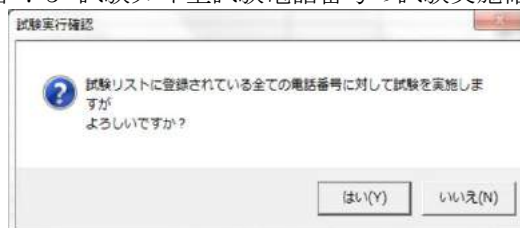


(2) 試験リスト全電話番号の試験実施を行う場合

メニューの[実行(R)]-[試験リスト全電話番号の試験実施(A)]を選択、またはF7キーを押下すると、図 7-5のメッセージが表示されます。

「はい(Y)」をクリックすると試験リストに登録されている全ての電話番号に対して試験が実行されます。ただし、試験タイプが回線交換試験の場合は、『着呼回数指定』ダイアログ(「7.7.2 着呼回数の指定」参照)が表示されます。「いいえ(N)」をクリックすると試験実行はキャンセルされます。

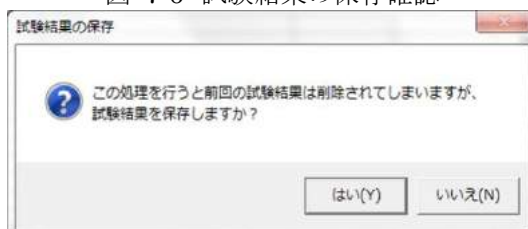
図 7-5 試験リスト全試験電話番号の試験実施確認



(3) 前回の試験結果を保存しないで、再度、試験の実行をしようとした場合は、図 7-6 のメッセージが表示されます。

「はい(Y)」をクリックすると『試験結果の保存』ダイアログ(「7.9 試験結果の保存について」参照)が表示されます。「いいえ(N)」をクリックすると上記の『試験実行確認』ダイアログが表示されます。

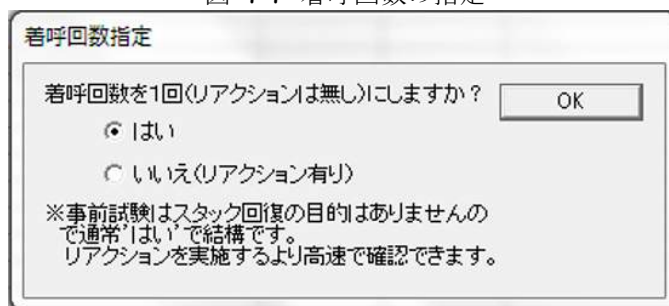
図 7-6 試験結果の保存確認



7.7.2 着呼回数の指定

(1) 事前試験を開始すると、図 7-7 のダイアログが表示されますので、「はい」、「いいえ(リアクション有り)」の回数を選択します。通常は「はい」を選択します。

図 7-7 着呼回数の指定



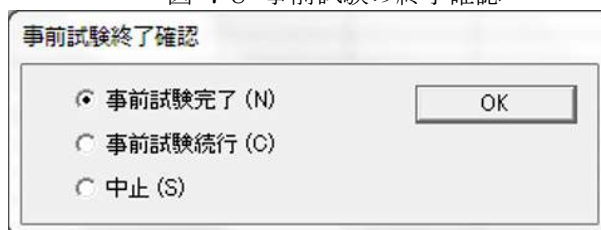
(2) 「はい」を選択し「OK」をクリックすると、アクションのみの事前試験が開始されます。

(3) 「いいえ(リアクション有り)」を選択し「OK」をクリックすると、アクションおよび登録されているリアクション全てに対して事前試験が開始されます。

7.7.3 事前試験の終了確認

- (1) 事前試験が終了すると、図 7-8 のダイアログが表示されますので、「事前試験完了(N)」、「事前試験続行(C)」または、「中止(S)」のいずれかを選択します。

図 7-8 事前試験の終了確認

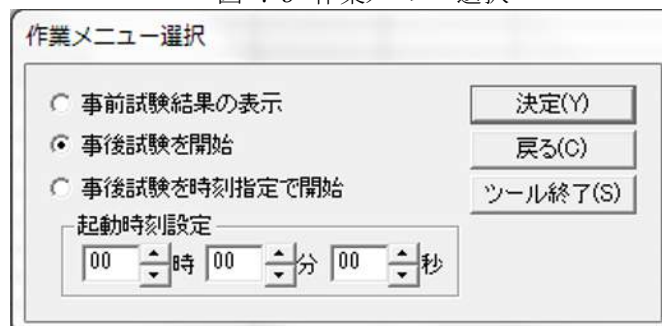


- (2) 「事前試験完了(N)」を選択し「OK」をクリックした場合
事後試験を開始するための『作業メニュー選択』ダイアログ(「7.7.4 事後試験の実行」参照)が表示されます。
- (3) 「事前試験続行(C)」を選択し「OK」をクリックした場合
『比較方法設定』ダイアログ(「7.2 比較方法設定について」参照)に戻ります。
- (4) 「中止(S)」を選択し「OK」をクリックした場合
『試験結果の保存』ダイアログ(「7.9 試験結果の保存について」参照)が表示されます。

7.7.4 事後試験の実行

- (1) 事後試験の開始前に、図 7-9 のダイアログが表示されます。

図 7-9 作業メニュー選択



- (2) 「事前試験結果の表示」を選択し「決定」をクリックすると、事前試験の結果が表示（「7.14 試験結果表示について」参照）されます。

※この時、『作業メニュー選択』ダイアログは表示されたままです。

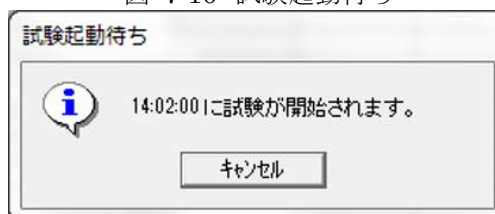
- (3) 「事後試験を開始」を選択し「決定」をクリックすると、事後試験が開始されます。

- (4) 事後試験を時刻起動で開始する場合は、起動時刻設定に開始したい時刻を設定します。

「時」、「分」、「秒」にフォーカスを移動し、時間の入力を行います。またスピンボタンをマウスでクリックまたは↑、↓キーを押下すると値が Up/Down します。

- (5) 「事後試験を時刻指定で開始」を選択し「決定」をクリックすると、図 7-10 のメッセージが表示され試験待ち状態となります。「キャンセル」をクリックすると試験待ち状態が解除され、試験リスト画面に戻ります。

図 7-10 試験起動待ち



- (6) 「戻る」をクリックと、事前試験終了確認に戻ります。

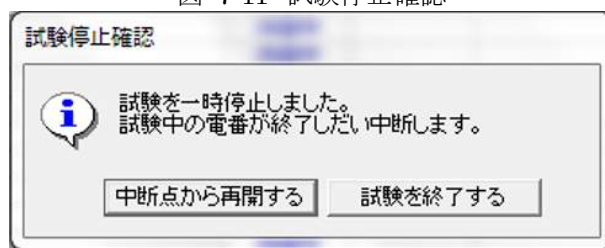
- (7) 「中止」をクリックすると、事前試験のみで試験が終了され、『試験結果保存』ダイアログ（「7.9 試験結果の保存について」参照）が表示されます。

7.8 試験の停止について

試験の停止には、指定した試験が全て終了した場合、試験が異常終了した場合とオペレータが試験を中断した場合の3種類があります。

- (1) 指定した試験が全て終了した場合または試験が異常終了した場合は、『保存ファイル指定』ダイアログ(「7.9 試験結果の保存について」参照)が表示されます。
- (2) メニューの[実行(R)]-[停止(E)]を選択、またはF8 キーを押下すると、図 7-11 のメッセージが表示されます。「中断点から再開する」をクリックすると一時停止された試験から再度試験が開始されます。「試験を終了する」をクリックすると試験が終了され、『保存ファイル指定』ダイアログ(「7.9 試験結果の保存について」参照)が表示されます。

図 7-11 試験停止確認



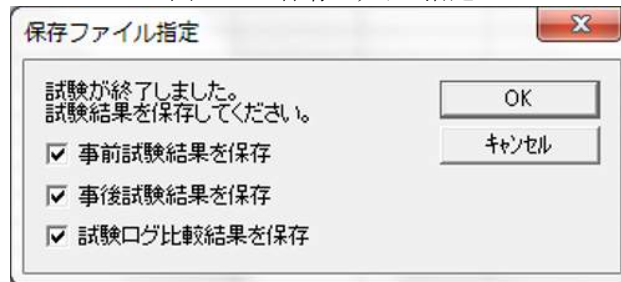
上記、ダイアログが表示されている場合は、試験は一時停止状態となっています。

7.9 試験結果の保存について

試験結果を“,”(カンマ)区切りのCSV形式のファイルに保存します。

- (1) メニューの[機能(F)]-[試験結果保存(A)]を選択、またはF4キーを押下すると、図 7-12 のダイアログが表示されます。

図 7-12 保存ファイル指定



- (2) 保存したい試験結果に対してチェックを有効にし、保存したくない試験結果に対しては、チェックを無効状態にします。

事前試験結果を保存
チェックを有効にした状態

事前試験結果を保存
チェックを無効にした状態

- (3) 「OK」をクリックすると、設定されている試験結果に対する図 7-のダイアログが表示されますので、保存ファイル名を入力して「保存」をクリックします。試験結果の保存を行わない場合は「キャンセル」をクリックします。

図 7-18 試験結果保存



7.9.1 保存内容

事前試験結果、事後試験結果および比較結果の内容について説明します。

■回線交換試験

(1) 表 7-1 に事前試験結果および事後試験結果の保存内容を示します。

表 7-1 回線交換試験の事前試験, 事後試験結果保存内容

項目	説明	
試験日時	試験を行った日付と時間が設定されます。	
回線番号	試験を行った電話番号が設定されます。	
裏番号	裏番号が設定されます。	
新收容位置	新收容位置情報または大口ユーザコードが設定されます。	
判定名	『回線1』など試験に設定されている判定名が設定されます。	
発番号通知	設定されている発番号通知の内容が『ON』か『OFF』で設定されます。	
アクション1情報	呼種別	『非制限1』など設定されている内容
	サブアドレス	『*01』など設定されている内容
	結果	試験結果の内容が設定されます。 設定内容:NG/-(ハイフン)/*1/*2/*3
	理由表示値	理由表示値またはエラーコードが設定されます。
リアクション1情報	同上	
リアクション2情報	同上	
リアクション3情報	同上	

(2) 表 7-2 に比較結果の保存内容を示します。

表 7-2 回線交換試験の比較結果保存内容

項目	説明	
試験日時	試験を行った日付と時間が設定されます。	
回線番号	試験を行った電話番号が設定されます。	
IFN/新收容位置	收容位置情報または大口ユーザコードが設定されます。	
事後試験結果	アクション結果	事後試験の試験結果の内容が設定されます。 設定内容:OK または理由表示値
	リアクション1結果	同上
	リアクション2結果	同上
	リアクション3結果	同上
比較結果	事前と事後の比較結果が設定されます。 設定内容:OK または要確認	
事前試験結果	事前試験の試験結果の内容が設定されます。 設定内容:OK または理由表示値	

7.10 試験リストについて

試験リストに表示される内容について説明します。

また、試験リストに登録可能な試験電話番号は最大3000件登録可能です。

図 7-19 回線交換試験時の試験リスト

No	<input checked="" type="checkbox"/>	回線番号	裏番号	新取容位置	進捗状況	比較結果	理由表示(前)	理由表示(後)	アクション	リアクション1	リアクション2	リアクション3	判定条件
1	<input checked="" type="checkbox"/>	55556099	10000000	20000000					G4-FAX				回線1
2	<input checked="" type="checkbox"/>	55556095	10000001	20000001					G4-FAX				回線1
3	<input checked="" type="checkbox"/>	55556059	10000002	20000002					G4-FAX				回線1
4	<input checked="" type="checkbox"/>	55556055	10000003	20000003					G4-FAX				回線1
5	<input checked="" type="checkbox"/>	55556056	10000004	20000004					G4-FAX				回線1
6	<input checked="" type="checkbox"/>	55556958	10000005	20000005					G4-FAX				回線1
7	<input checked="" type="checkbox"/>	55556994	10000006	20000006					G4-FAX				回線1
8	<input checked="" type="checkbox"/>	55556995	10000007	20000007					G4-FAX				回線1
9	<input checked="" type="checkbox"/>	55556998	10000008	20000008					G4-FAX				回線1
10	<input checked="" type="checkbox"/>	55557065	10000009	20000009					G4-FAX				回線1
11	<input checked="" type="checkbox"/>	55557079	10000010	20000010					G4-FAX				回線1
12	<input checked="" type="checkbox"/>	55557985	10000011	20000011					G4-FAX				回線1
13	<input checked="" type="checkbox"/>	55557979	10000012	20000012					G4-FAX				回線1
14	<input checked="" type="checkbox"/>	55557484	10000013	20000013					G4-FAX				回線1
15	<input checked="" type="checkbox"/>	55557554	10000014	20000014					G4-FAX				回線1
16	<input checked="" type="checkbox"/>	55557579	10000015	20000015					G4-FAX				回線1
17	<input checked="" type="checkbox"/>	55557696	10000016	20000016					G4-FAX				回線1
18	<input checked="" type="checkbox"/>	55557848	10000017	20000017					G4-FAX				回線1
19	<input checked="" type="checkbox"/>	55557955	10000018	20000018					G4-FAX				回線1
20	<input checked="" type="checkbox"/>	55557066	10000019	20000019					G4-FAX				回線1

■表示項目説明

試験リストの表示項目について、表 7-3 に示します。

表 7-3 試験リスト表示項目

表示項目	説明
No.	試験毎に一意の No. が割り当てられます。
試験の有効/無効	試験対象の項目を選択します。
回線番号	試験を行う電話番号が表示されます。
裏番号	裏番号の名称が表示されます。
新収容位置	新収容位置情報または大口ユーザコードが表示されます。
進捗状況	<p>実行時の動作状況および結果を表示します。 表示内容を以下に記述します。</p> <p>実行中 : 試験中を表わします。(緑色で表示) 待機中 : 試験実行待ちを表わします。 -- : 試験が正常終了したことを表わします。 NG : 試験が判定基準でNGになったことを表わします。(赤色で表示) * : 試験回線が切れていることを表わします *3 : ISDN回線の異常(切断またはリバース)</p>
比較結果	<p>事前・事後の試験結果から比較結果を表示します。※3 表示内容を以下に記述します。</p> <p>-- : 事前と事後の試験結果が同じことを表わします。 要確認 : 事前と事後の試験結果が違うことを表わします。(赤色で表示)</p>
理由表示(前)	事前試験の理由表示値が表示されます。※2
理由表示(後)	事後試験の理由表示値が表示されます。※2
アクション, リアクション 1~3	試験を行うために使用される呼種別名が表示されます。※1
判定基準	試験の判定を行う判定名が表示されます。

※1:「回線交換試験」選択時のみ表示されます。

※2:「回線交換試験」選択時のみ表示されます。

※3:比較判定の判定論理を、表 7-4 に示します。

1つの電話番号に対する事後試験完了後に、事前試験の結果と事後試験の結果をマトリックスにしたがって判定しOK(表示は"--")またはNG(表示は“要確認”(赤色))を比較結果表示エリアに表示します。

表 7-4 判定マトリックス

事前試験結果	事後試験結果	比較結果表示	説明
OK	OK	--	
OK	NG	要確認	
NG	OK	--	
NG	NG	--	NGの詳細が事前と事後で同じ場合
NG	NG	要確認	NGの詳細が事前と事後で違う場合

7.10.1 試験リストのソート

試験リストに登録されている試験項目を回線番号または新收容位置で昇順/降順のソートを行います。

- (1) 試験リストの項目タイトルをマウスでクリックすると、図 7-13、図 7-14 のようにクリックした項目に対して、ソートが行われます。

図 7-13 回線番号でソートした場合

No	回線番号	裏番号	新收容位置	進捗状況	比較結果	理由表示(前)	理由表示(後)	アクション	リアクション1	リアクション2	リアクション3	判定条件
1	55557985	10000011	20000011					G4-FAX				回線1
2	55557979	10000012	20000012					G4-FAX				回線1
3	55557955	10000022	20000022					G4-FAX				回線1
4	55557955	10000018	20000018					G4-FAX				回線1
5	55557848	10000017	20000017					G4-FAX				回線1
6	55557696	10000016	20000016					G4-FAX				回線1
7	55557579	10000015	20000015					G4-FAX				回線1
8	55557554	10000014	20000014					G4-FAX				回線1
9	55557484	10000013	20000013					G4-FAX				回線1
10	55557080	10000020	20000020					G4-FAX				回線1
11	55557079	10000010	20000010					G4-FAX				回線1
12	55557066	10000019	20000019					G4-FAX				回線1
13	55557065	10000009	20000009					G4-FAX				回線1
14	55556998	10000008	20000008					G4-FAX				回線1
15	55556995	10000007	20000007					G4-FAX				回線1
16	55556994	10000006	20000006					G4-FAX				回線1
17	55556950	10000005	20000005					G4-FAX				回線1
18	55556099	10000000	20000000					G4-FAX				回線1
19	55556095	10000001	20000001					G4-FAX				回線1
20	55556059	10000002	20000002					G4-FAX				回線1

図 7-14 新收容位置でソートした場合

No	回線番号	裏番号	新收容位置	進捗状況	比較結果	理由表示(前)	理由表示(後)	アクション	リアクション1	リアクション2	リアクション3	判定条件
1	55556099	10000000	20000000					G4-FAX				回線1
2	55556095	10000001	20000001					G4-FAX				回線1
3	55556059	10000002	20000002					G4-FAX				回線1
4	55556055	10000003	20000003					G4-FAX				回線1
5	55556056	10000004	20000004					G4-FAX				回線1
6	55556958	10000005	20000005					G4-FAX				回線1
7	55556994	10000006	20000006					G4-FAX				回線1
8	55556995	10000007	20000007					G4-FAX				回線1
9	55556998	10000008	20000008					G4-FAX				回線1
10	55557065	10000009	20000009					G4-FAX				回線1
11	55557079	10000010	20000010					G4-FAX				回線1
12	55557985	10000011	20000011					G4-FAX				回線1
13	55557979	10000012	20000012					G4-FAX				回線1
14	55557484	10000013	20000013					G4-FAX				回線1
15	55557554	10000014	20000014					G4-FAX				回線1
16	55557579	10000015	20000015					G4-FAX				回線1
17	55557696	10000016	20000016					G4-FAX				回線1
18	55557848	10000017	20000017					G4-FAX				回線1
19	55557955	10000018	20000018					G4-FAX				回線1
20	55557066	10000019	20000019					G4-FAX				回線1

- (2) 項目タイトルをクリックするたびに、昇順/降順とソート順番が切り替わります。

7.11 試験項目設定について

試験項目の内容を設定します。

- (1) メニューの[編集(E)]-[設定(S)]を選択、または Enter キーを押下すると、回線交換の場合は図 7-15 のダイアログが表示され、試験リスト上で選択されている試験項目の内容が表示されます。

図 7-15 回線交換試験の試験項目設定

The screenshot shows the '試験項目設定' (Test Item Setting) dialog box. It contains the following elements:

- No. :** A numeric input field with the value '1' and a spinner control.
- 更新(U)** and **閉じる(C)** buttons.
- この試験を有効にする** (Enable this test).
- 回線番号 :** Input field with value '55556099'.
- 裏番号 :** Input field with value '10000000'.
- 新收容位置 :** Input field with value '20000000'.
- アクション名 :** Dropdown menu showing 'アクション1(テフォルト)'.
- テフォルト読込(R)** button.
- アクション情報** section:
 - アクション** 呼種別名: G4-FAX 呼種別名: G4-FAX 呼種別名: G4-FAX 呼種別名: G4-FAX 呼種別名: G4-FAX
 - リアクション1** 呼種別名: 非制限 呼種別名: 非制限 呼種別名: 非制限 呼種別名: 非制限
 - リアクション2** 呼種別名: 非制限 呼種別名: 非制限 呼種別名: 非制限 呼種別名: 非制限
 - リアクション3** 呼種別名: G4-FAX 呼種別名: G4-FAX 呼種別名: G4-FAX 呼種別名: G4-FAX
- 発番号通知 :** Radio buttons for ON and OFF, with OFF selected.
- 判定基準** section:
 - 判定名 :** Dropdown menu showing '回線 1'.
 - 生成源 :** Input field
 - NG情報 :** Input field
 - 生成源 :** Input field
 - NG情報 :** Input field
- 外ラバ間隔 :** Input field with value '0' and unit '(秒)'.

- (2) 試験項目 No の選択を行います。

「No.」にフォーカスを移動し、↑, ↓キーまたはスピンボタンで試験リスト上に登録されている試験項目内容が表示されます。

- (3) 試験項目の有効／無効を設定します。

「この試験を有効にする」にフォーカスを移動し、SPCキーを押下、またはマウスでクリックすると有効(チェック)状態／無効(未チェック)状態が切替ります。有効状態にすると、試験実行の対象となり、無効状態にすると試験実行の対象外となります。また、この設定は試験リスト上からでも設定可能です。

この試験を有効にする

試験を有効にした状態

この試験を有効にする

試験を無効にした状態

- (4) 回線番号の入力を行います。

「回線番号」にフォーカスを移動し、着信をかける電話番号を入力します。入力は、数字のみとし5桁～最大16桁まで入力可能です。

回線番号 : 055556099

回線番号を入力した状態

- (5) 裏番号の入力を行います。

「裏番号」にフォーカスを移動し、裏番号を入力します。入力は全角文字で最大20文字まで入力可能です。

裏番号 : 100000000

裏番号を入力した状態

- (6) 新収容位置の入力を行います。

「新収容位置」にフォーカスを移動し、新収容位置を入力します。入力は全角文字で最大20文字まで入力可能です。

新収容位置 : 200000000

新収容位置を入力した状態

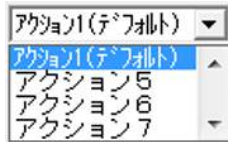
注意 ・回線番号は必ず入力して下さい。

・裏番号および新収容位置は入力しなくても問題ありません。

以降、(7)～(14)までは、回線交換試験の場合

(7) アクション名を設定します。

「アクション名」をマウスでクリックするとアクション名の一覧がプルダウンメニューで表示されますので、アクション名を選択します。また、「アクション名」にフォーカスを移動し、↑、↓キーを押下するとアクション名が変わります。選択できるアクション名は、“アクション 1(デフォルト)”～“アクション 10”の計10種類です。



「アクション名」のプルダウンメニュー

注意 ・“アクション1(デフォルト)”は、電番データを読み込む際に、デフォルトで付加されるアクション内容です。このため、電番データを読み込む前にアクション設定の内容を変更したい場合には、“アクション1(デフォルト)”のアクション内容を変更して下さい。なお、電番データを読み込んだ後に、アクション内容をまとめて変更したい場合には、7.11.1 試験項目一括変更を参照して下さい。

(8) アクション情報は、1つのアクションと最大3つのリアクションが設定可能で、個々のアクションまたはリアクションに対して「呼種別名」、「サブアドレス」の設定を行います。

(9) アクションまたはリアクションを有効／無効状態に設定します。

「アクション」または「リアクション」にフォーカスを移動しSPCキーを押下、またはマウスでクリックすると有効(チェック)状態／無効(未チェック)状態が切替ります。有効状態にすると「呼種別名」、「サブアドレス」の設定が可能となり、無効状態にすると設定不可状態となります。



リアクションを有効にした状態



リアクションを無効にした状態

(10) 呼種別名を選択します。

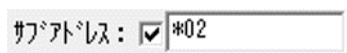
「呼種別名」をマウスでクリックすると呼種別名の一覧がプルダウンメニューで表示されますので、呼種別名を選択します。また、「呼種別名」にフォーカスを移動し、↑、↓キーを押下すると呼種別名が変わります。選択できる呼種別名は、“音声”，“非制限”，“G4-FAX”の計3種類です。



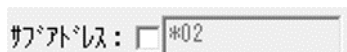
「呼種別名」のプルダウンメニュー

- (11) サブアドレスの設定を行います。

設定した「呼種別名」に対して、「サブアドレス」を設定します。「サブアドレス」にフォーカスを移動しSPCキーを押下、またはマウスでクリックすると有効(チェック)状態／無効(未チェック)状態が切替ります。有効状態にすると「サブアドレス」の入力が可能となり、無効状態にすると入力不可状態となります。「サブアドレス」の入力は、“*”，“0”～“9”の文字で最大20文字まで入力可能です。



サブアドレスを有効にした状態



サブアドレスを無効にした状態

- (12) 発番号通知の設定を行います。

「発番号通知」の“ON”／“OFF”をマウスでクリック、または「発番号通知」にフォーカスを移動し、←、→キーを押下すると“ON”／“OFF”が切替ります。

- (13) 判定基準の設定を行います。

「判定名」をマウスでクリックすると判定名の一覧がプルダウンメニューで表示されますので、判定名を選択します。また、「判定名」にフォーカスを移動し、↑、↓キーを押下すると判定名が変わります。判定名を選択すると、設定されている判定基準の情報が画面に表示されます。



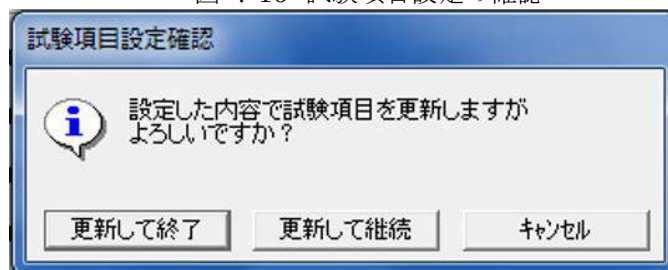
「判定名」のプルダウンメニュー

- (14) リトライ間隔の設定を行います。

「リトライ間隔」にフォーカスを移動し、0～60(秒)の間で入力します。

(15) 「更新(U)」をクリックすると、図 7-16 のメッセージが表示されます。

図 7-16 試験項目設定の確認



(16) 設定した内容で更新して試験項目設定を終了する場合は「更新して終了」を、設定した内容で更新して試験項目を設定を継続する場合は「更新して継続」を、設定内容をキャンセルする場合は「キャンセル」をクリックします。「更新して終了」または「更新して継続」をクリックすると設定した内容が試験リストに反映されます。

注意 ・設定項目を変更した状態で、更新ボタンを押下せずに、別の試験項目を選択した場合は、変更内容は無効となります。

(17) 「閉じる(C)」をクリックまたはESCキーを押下すると、試験リスト画面に戻ります。

(18) 「デフォルト読込(R)」をクリックすると、アクション情報、判定基準、リトライ間隔の設定内容が、デフォルト設定で設定されている内容に変更されます。

7.11.1 試験項目一括変更

選択した試験項目に対して、設定内容を一括変更します。

- (1) 一括変更したい試験電話番号を図 7-17 のように試験リスト上で選択します。

図 7-17 試験リストの選択

No		回線番号	裏番号	新収容位置	進捗状況	比較結果	理由表示(前)	理由表示(後)	アクション	リアクション1	リアクション2	リアクション3	判定条件
1	<input checked="" type="checkbox"/>	55556099	10000000	20000000					G4-FAX				回線1
2	<input checked="" type="checkbox"/>	55556095	10000001	20000001					G4-FAX				回線1
3	<input checked="" type="checkbox"/>	55556059	10000002	20000002					G4-FAX				回線1
4	<input checked="" type="checkbox"/>	55556055	10000003	20000003					G4-FAX				回線1
5	<input checked="" type="checkbox"/>	55556050	10000004	20000004					G4-FAX				回線1
6	<input checked="" type="checkbox"/>	55556958	10000005	20000005					G4-FAX				回線1
7	<input checked="" type="checkbox"/>	55556994	10000006	20000006					G4-FAX				回線1
8	<input checked="" type="checkbox"/>	55556995	10000007	20000007					G4-FAX				回線1
9	<input checked="" type="checkbox"/>	55556990	10000008	20000008					G4-FAX				回線1
10	<input checked="" type="checkbox"/>	55557065	10000009	20000009					G4-FAX				回線1
11	<input checked="" type="checkbox"/>	55557079	10000010	20000010					G4-FAX				回線1
12	<input checked="" type="checkbox"/>	55557985	10000011	20000011					G4-FAX				回線1
13	<input checked="" type="checkbox"/>	55557979	10000012	20000012					G4-FAX				回線1
14	<input checked="" type="checkbox"/>	55557484	10000013	20000013					G4-FAX				回線1
15	<input checked="" type="checkbox"/>	55557554	10000014	20000014					G4-FAX				回線1
16	<input checked="" type="checkbox"/>	55557579	10000015	20000015					G4-FAX				回線1
17	<input checked="" type="checkbox"/>	55557696	10000016	20000016					G4-FAX				回線1
18	<input checked="" type="checkbox"/>	55557848	10000017	20000017					G4-FAX				回線1
19	<input checked="" type="checkbox"/>	55557955	10000018	20000018					G4-FAX				回線1
20	<input checked="" type="checkbox"/>	55557066	10000019	20000019					G4-FAX				回線1

- (2) メニューの[編集(E)]-[設定(S)]を選択すると、図 7-18 のダイアログが表示されます。表示される設定項目内容は、試験リスト上で選択された最初の試験項目内容が表示されます。

図 7-18 試験項目一括変更

- (3) 試験の有効/無効, リアクション情報, 判定基準, リトライ間隔を変更し、「更新(U)」をクリックすることにより、選択されている試験項目全てが、設定した内容に変更されます。このとき、回線番号, 裏番号, 新収容位置は変更できません。

7.12 試験電話番号削除について

試験電話番号を試験リストから削除します。削除方法には、選択された試験電話番号の削除と試験リストに登録されている全試験電話番号の削除の2種類があります。

7.12.1 削除

選択した試験電話番号を試験リストから削除します。

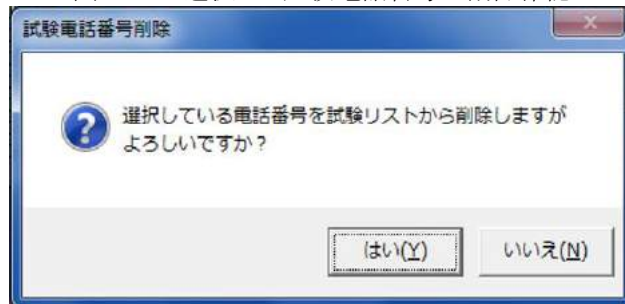
(1) 図 7-19 のように削除したい試験項目を試験リスト上から選択します。

図 7-19 削除試験電話番号の選択

No		回線番号	裏番号	新取容位置	進捗状況	比較結果	理由表示(前)	理由表示(後)	アクション	リアクション1	リアクション2	リアクション3	判定条件
1	<input checked="" type="checkbox"/>	55556099	10000000	20000000					G4-FAX				回線1
2	<input checked="" type="checkbox"/>	55556095	10000001	20000001					G4-FAX				回線1
3	<input checked="" type="checkbox"/>	55556059	10000002	20000002					G4-FAX				回線1
4	<input checked="" type="checkbox"/>	55556055	10000003	20000003					G4-FAX				回線1
5	<input checked="" type="checkbox"/>	55556056	10000004	20000004					G4-FAX				回線1
6	<input checked="" type="checkbox"/>	55556958	10000005	20000005					G4-FAX				回線1
7	<input checked="" type="checkbox"/>	55556994	10000006	20000006					G4-FAX				回線1
8	<input checked="" type="checkbox"/>	55556995	10000007	20000007					G4-FAX				回線1
9	<input checked="" type="checkbox"/>	55556998	10000008	20000008					G4-FAX				回線1
10	<input checked="" type="checkbox"/>	55557065	10000009	20000009					G4-FAX				回線1
11	<input checked="" type="checkbox"/>	55557079	10000010	20000010					G4-FAX				回線1
12	<input checked="" type="checkbox"/>	55557985	10000011	20000011					G4-FAX				回線1
13	<input checked="" type="checkbox"/>	55557979	10000012	20000012					G4-FAX				回線1
14	<input checked="" type="checkbox"/>	55557484	10000013	20000013					G4-FAX				回線1
15	<input checked="" type="checkbox"/>	55557554	10000014	20000014					G4-FAX				回線1
16	<input checked="" type="checkbox"/>	55557579	10000015	20000015					G4-FAX				回線1
17	<input checked="" type="checkbox"/>	55557696	10000016	20000016					G4-FAX				回線1
18	<input checked="" type="checkbox"/>	55557848	10000017	20000017					G4-FAX				回線1
19	<input checked="" type="checkbox"/>	55557955	10000018	20000018					G4-FAX				回線1
20	<input checked="" type="checkbox"/>	55557866	10000019	20000019					G4-FAX				回線1

(2) メニューの[編集(E)]-[削除(D)]を選択、または Delete キーを押下すると、図 7-20 のメッセージが表示されます。

図 7-20 選択した試験電話番号の削除確認



(3) 削除する場合は「はい(Y)」を、キャンセルする場合は「いいえ(N)」をクリックします。「はい(Y)」をクリックすると図 7-19 のように選択されている試験項目が試験リストより削除されます。

図 7-28 選択した試験電話番号の削除結果

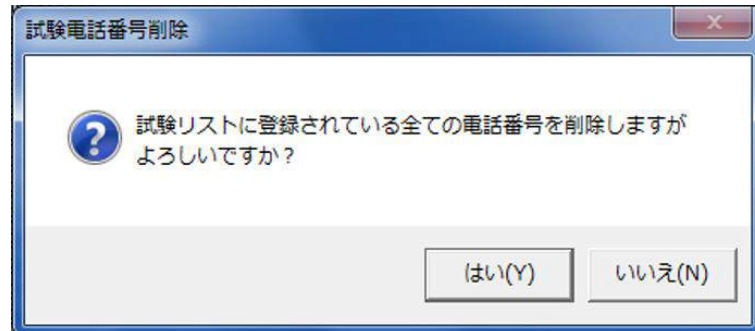
No		回線番号	裏番号	新取容位置	進捗状況	比較結果	理由表示(前)	理由表示(後)	アクション	リアクション1	リアクション2	リアクション3	判定条件
1	<input checked="" type="checkbox"/>	55556099	10000000	20000000					G4-FAX				回線1
2	<input checked="" type="checkbox"/>	55556095	10000001	20000001					G4-FAX				回線1
3	<input checked="" type="checkbox"/>	55556059	10000002	20000002					G4-FAX				回線1
4	<input checked="" type="checkbox"/>	55556055	10000003	20000003					G4-FAX				回線1
5	<input checked="" type="checkbox"/>	55557985	10000011	20000011					G4-FAX				回線1
6	<input checked="" type="checkbox"/>	55557979	10000012	20000012					G4-FAX				回線1
7	<input checked="" type="checkbox"/>	55557484	10000013	20000013					G4-FAX				回線1
8	<input checked="" type="checkbox"/>	55557554	10000014	20000014					G4-FAX				回線1
9	<input checked="" type="checkbox"/>	55557579	10000015	20000015					G4-FAX				回線1
10	<input checked="" type="checkbox"/>	55557696	10000016	20000016					G4-FAX				回線1
11	<input checked="" type="checkbox"/>	55557848	10000017	20000017					G4-FAX				回線1
12	<input checked="" type="checkbox"/>	55557955	10000018	20000018					G4-FAX				回線1
13	<input checked="" type="checkbox"/>	55557866	10000019	20000019					G4-FAX				回線1
14	<input checked="" type="checkbox"/>	55557080	10000020	20000020					G4-FAX				回線1
15	<input checked="" type="checkbox"/>	55556057	10000021	20000021					G4-FAX				回線1
16	<input checked="" type="checkbox"/>	55557955	10000022	20000022					G4-FAX				回線1
17													

7.12.2 全削除

試験リストに登録されている全ての試験電話番号を試験リストより削除します。

- (1) メニューの[編集(E)]-[全削除(A)]を選択、または Ctrl+Delete キーを押下すると、図 7-29 のメッセージが表示されます。

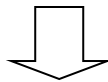
図 7-29 全試験電話番号の削除確認



- (2) 全削除する場合は「はい(Y)」を、キャンセルする場合は「いいえ(N)」をクリックします。「はい(Y)」をクリックすると、図 7-21 のように試験リストに登録されている全ての試験電話番号が試験リストより削除されます。

図 7-21 全試験電話番号の削除結果

No	回線番号	番号	新収容位置	進捗状況	比較結果	理由表示(前)	理由表示(後)	アクション	リアクション1	リアクション2	リアクション3	判定条件
1	<input checked="" type="checkbox"/>	55556099	10000000	20000000				G4-FAX				回線1
2	<input checked="" type="checkbox"/>	55556095	10000001	20000001				G4-FAX				回線1
3	<input checked="" type="checkbox"/>	55556059	10000002	20000002				G4-FAX				回線1
4	<input checked="" type="checkbox"/>	55556055	10000003	20000003				G4-FAX				回線1
5	<input checked="" type="checkbox"/>	55556056	10000004	20000004				G4-FAX				回線1
6	<input checked="" type="checkbox"/>	55556958	10000005	20000005				G4-FAX				回線1
7	<input checked="" type="checkbox"/>	55556994	10000006	20000006				G4-FAX				回線1
8	<input checked="" type="checkbox"/>	55556995	10000007	20000007				G4-FAX				回線1
9	<input checked="" type="checkbox"/>	55556998	10000008	20000008				G4-FAX				回線1
10	<input checked="" type="checkbox"/>	55557065	10000009	20000009				G4-FAX				回線1
11	<input checked="" type="checkbox"/>	55557079	10000010	20000010				G4-FAX				回線1
12	<input checked="" type="checkbox"/>	55557985	10000011	20000011				G4-FAX				回線1
13	<input checked="" type="checkbox"/>	55557979	10000012	20000012				G4-FAX				回線1
14	<input checked="" type="checkbox"/>	55557484	10000013	20000013				G4-FAX				回線1
15	<input checked="" type="checkbox"/>	55557554	10000014	20000014				G4-FAX				回線1
16	<input checked="" type="checkbox"/>	55557579	10000015	20000015				G4-FAX				回線1
17	<input checked="" type="checkbox"/>	55557696	10000016	20000016				G4-FAX				回線1
18	<input checked="" type="checkbox"/>	55557848	10000017	20000017				G4-FAX				回線1
19	<input checked="" type="checkbox"/>	55557955	10000018	20000018				G4-FAX				回線1
20	<input checked="" type="checkbox"/>	55557066	10000019	20000019				G4-FAX				回線1



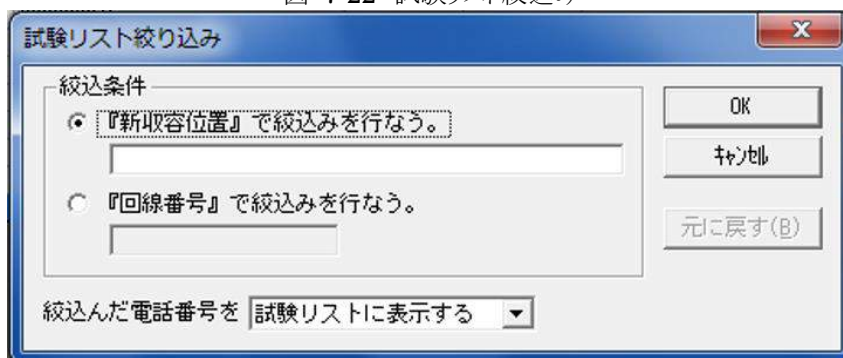
No	回線番号	番号	新収容位置	進捗状況	比較結果	理由表示(前)	理由表示(後)	アクション	リアクション1	リアクション2	リアクション3	判定条件
1												

7.13 試験リスト絞込みについて

試験リストに登録されている試験電話番号を特定の回線番号または新収容位置で絞込んで、試験リストを再構築します。

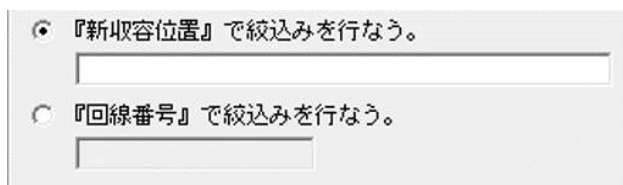
- (1) メニューの[編集(D)]-[試験リスト絞込み(O)]を選択、または Ctrl+O キーを押下すると、図 7-22 のダイアログが表示されます。

図 7-22 試験リスト絞込み

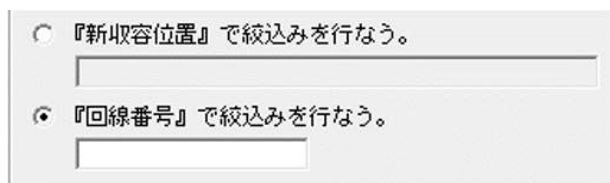


- (2) 絞込みの対象(新収容位置, 回線番号)を選択します。

「『新収容位置』で絞り込みを行なう」または「『回線番号』で絞り込みを行なう」にフォーカスを移動し、↑, ↓キーで選択、またはマウスでクリックします。「『新収容位置』で...」を有効にした場合は「『回線番号』で...」は無効状態となり、「『回線番号』で...」を有効にした場合は「『新収容位置』で...」は無効状態となります。



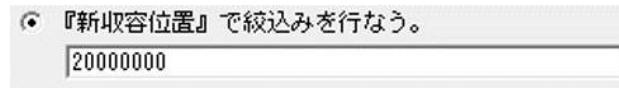
新収容位置を選択した状態



回線番号を選択した状態

(3) 絞込みを行なう新収容位置を設定します。

新収容位置の入力フィールドにフォーカスを移動し、絞込みを行なう新収容位置を入力します。



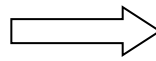
新収容位置を入力した状態

また、新収容位置は先頭からの部分指定が可能で、試験リストに登録されている全ての新収容位置に対して、一致する新収容位置で絞込みを行います。

例) 新収容位置の入力で、“20000000”を入力して絞込みを行った場合

試験リストに登録されている新収容位置

200000000
200000001
200000002
200000003
200000011
200000012

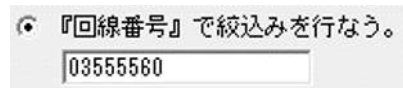


絞込み後の新収容位置

200000000
200000001
200000002
200000003

(4) 絞込みを行なう回線番号を設定します。

回線番号の入力フィールドにフォーカスを移動し、絞込みを行なう回線番号を入力します。入力は数字のみとし最大16文字まで入力可能です。



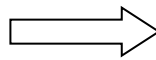
回線番号を入力した状態

また、回線番号は先頭からの部分指定が可能で、試験リストに登録されている全ての回線番号に対して、一致する回線番号で絞込みを行います。

例) 回線番号の入力で、“035”を入力した場合

試験リストに設定されている回線番号

0356123456
0426666666
0335555555
0354888888
0035999999
0355637548



絞込み後の回線番号

0356123456
0354888888
0355637548

- (5) 絞り込み対象の電話番号のみを試験リストに表示または試験リストから削除するかを選択します。
「絞り込んだ電話番号を」をマウスでクリックすると選択項目の一覧がプルダウンメニューで表示されますので、「試験リストに表示する」、「試験リストから削除する」のいずれかを選択します。また、「絞り込んだ電話番号を」にフォーカスを移動し、↑、↓キーを押下することでも選択可能です。



「絞り込んだ電話番号を」のプルダウンメニュー

- (6) 「OK」をクリックすると、図 7-23 のメッセージが表示されますので、「はい(Y)」をクリックすると、図 7-24 のように設定した内容で絞り込みが行われます。「いいえ(N)」をクリックすると試験リスト絞り込み画面に戻ります。

図 7-23 試験リスト絞り込み確認

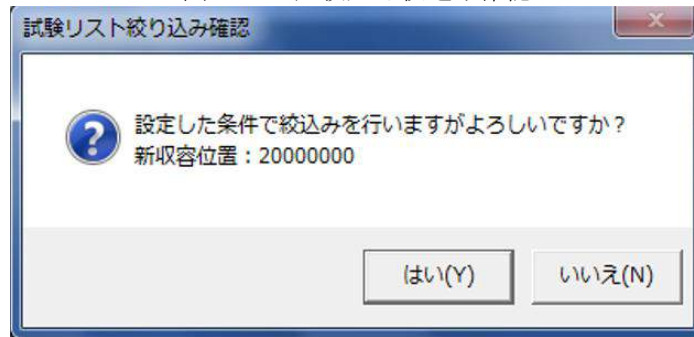


図 7-24 絞り込み結果

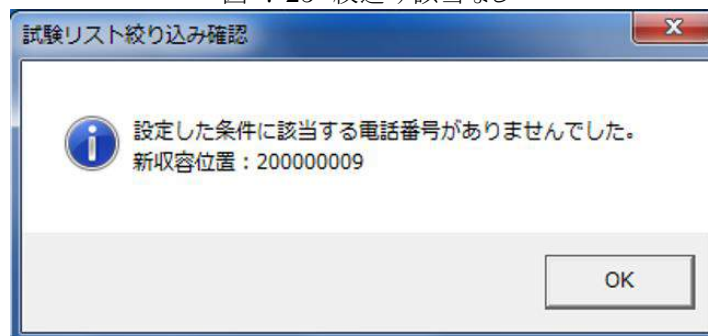
No	回線番号	番号	新収容位置	進捗状況	比較結果	理由表示(前)	理由表示(後)	アクション	アクション1	アクション2	アクション3	判定条件
1	5555009	10000000	20000000					G4-FAX				回線1
2	5555095	10000001	20000001					G4-FAX				回線1
3	5555009	10000002	20000002					G4-FAX				回線1
4	5555005	10000003	20000003					G4-FAX				回線1
5	5557905	10000011	20000011					G4-FAX				回線1
6	5557979	10000012	20000012					G4-FAX				回線1
7	5557434	10000013	20000013					G4-FAX				回線1
8	5557554	10000014	20000014					G4-FAX				回線1
9	5557579	10000015	20000015					G4-FAX				回線1
10	5557696	10000016	20000016					G4-FAX				回線1
11	5557848	10000017	20000017					G4-FAX				回線1
12	5557905	10000018	20000018					G4-FAX				回線1
13	5557006	10000019	20000019					G4-FAX				回線1
14	5557000	10000020	20000020					G4-FAX				回線1
15	5556007	10000021	20000021					G4-FAX				回線1
16	5557955	10000022	20000022					G4-FAX				回線1
17												



No	回線番号	番号	新収容位置	進捗状況	比較結果	理由表示(前)	理由表示(後)	アクション	アクション1	アクション2	アクション3	判定条件
1	5555009	10000000	20000000					G4-FAX				回線1
2	5555095	10000001	20000001					G4-FAX				回線1
3	5555009	10000002	20000002					G4-FAX				回線1
4	5555005	10000003	20000003					G4-FAX				回線1

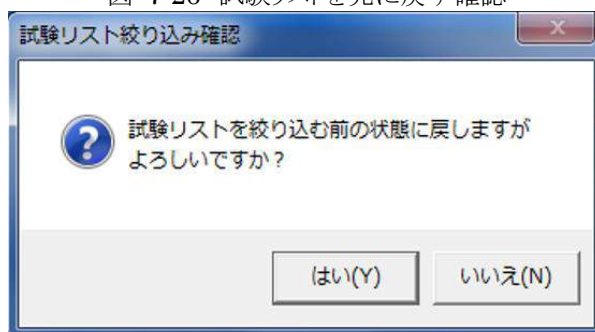
また、絞り込みを行なう対象が試験リストに無い場合は、図 7-25 のメッセージが表われます。

図 7-25 絞り込み該当なし



- (7) 「キャンセル」をクリックまたはESCキーを押下すると設定した内容は無効となり、試験リスト画面に戻ります。
- (8) 「元に戻す」をクリックすると、図 7-26 のメッセージが表示されますので、「はい(Y)」をクリックすると、前回絞込みを行なう前の状態に試験リストが戻ります。「いいえ(N)」をクリックすると試験対象設定画面に戻ります。

図 7-26 試験リストを元に戻す確認



-
- 注意** ・「元に戻す」は絞込みを行なった場合のみ有効とまります。
- ・絞込みを元に戻す場合は、前回の状態にしか戻せないため、続けて何回も絞込みを行なった場合でも一つ前の状態にした元に戻せません。
-

7.14 試験結果表示について

事前または事後試験結果の出力します。

メニューの[機能(F)]-[試験結果表示(L)]を選択すると、回線交換試験の場合は図 7-27 のが表示されます。

図 7-27 回線交換の試験結果表示

時刻	回線番号	番番号	新収容位置	判定名	アクション	結果 詳細	リアクション1	結果 詳細	リアクション2	結果 詳細	リアクション3	結果 詳細
14:05	35194991			回線 1	G4-FAX	NG 41(網)	G4-FAX	NG 41(網)				
14:06	33406880			回線 1	G4-FAX	-- 88(2-サ)	G4-FAX					
14:06	33423328			回線 1	G4-FAX	-- 88(2-サ)	G4-FAX					
14:06	33423351			回線 1	G4-FAX	-- 88(2-サ)	G4-FAX					
14:06	33423353			回線 1	G4-FAX	-- 88(2-サ)	G4-FAX					
14:06	33427731			回線 1	G4-FAX	-- 88(2-サ)	G4-FAX					
14:06	33427784			回線 1	G4-FAX	-- 27(網)	G4-FAX					
14:06	33427958			回線 1	G4-FAX	-- 88(2-サ)	G4-FAX					
14:07	33430181			回線 1	G4-FAX	-- 88(2-サ)	G4-FAX					

■表示項目説明

表 7-5 に試験結果表示で表示される項目について説明します。

表 7-5 試験結果表示項目一覧

項目	説明
試験開始日付	該当試験の開始日付が表示されます。
時刻	該当試験の開始時刻が表示されます。
回線番号	該当試験の回線番号が表示されます。
裏番号	該当試験の裏番号がある場合表示されます。(最大全角 10 文字分)
新收容位置	收容位置情報が表示されます。(最大全角 13 文字分)
判定名	該当試験の判定名が表示されます。
アクション情報	該当試験のアクション情報 ※1
リアクション1	呼種別名が表示されます。
結果	試験結果を“--”(OK)又は“NG”で表示されます。
詳細	試験結果の詳細が表示されます。
リアクション1情報	同上 ※1
リアクション2情報	同上 ※1
リアクション3情報	同上 ※1

※1:「回線交換試験」選択時のみ表示されます。

注意 ・試験結果表示は、試験が終了した順番に表示されるため、試験リストの順番とは異なります。

■メニューの説明

表 7-6 に試験結果表示でのメニューについて説明します。

表 7-6 試験結果表示メニュー一覧

メニュー	ショートカット	説明
機能(F)		
更新(N)	F5	試験結果を最新情報に更新します。
印刷(P)	Ctrl+P	試験結果を印刷します。※1
印刷プレビュー(V)		試験結果の印刷イメージを画面上に表示します。
プリンタの設定(R)		試験結果を印刷します。※2
余白の設定(M)		印刷時における余白の設定をします。※2
閉じる(X)		試験結果画面を閉じます。
編集(E)		
元に戻す(U)	Ctrl+Z	削除した試験結果項目を元に戻します。
削除(D)	Delete	選択した試験結果項目を削除します。

7.14.1 画面更新

試験結果を最新の情報にします。

メニューの[機能(F)]-[更新(N)]を選択、またはF5キーを押下すると、試験結果の最新情報が画面に表示されます。

7.14.2 印刷

試験結果の印刷を行います。

- (1) メニューの[機能(F)]-[印刷(P)]を選択、または Ctrl+P を押下すると、図 7-28 のダイアログが表示されます。

図 7-28 印刷



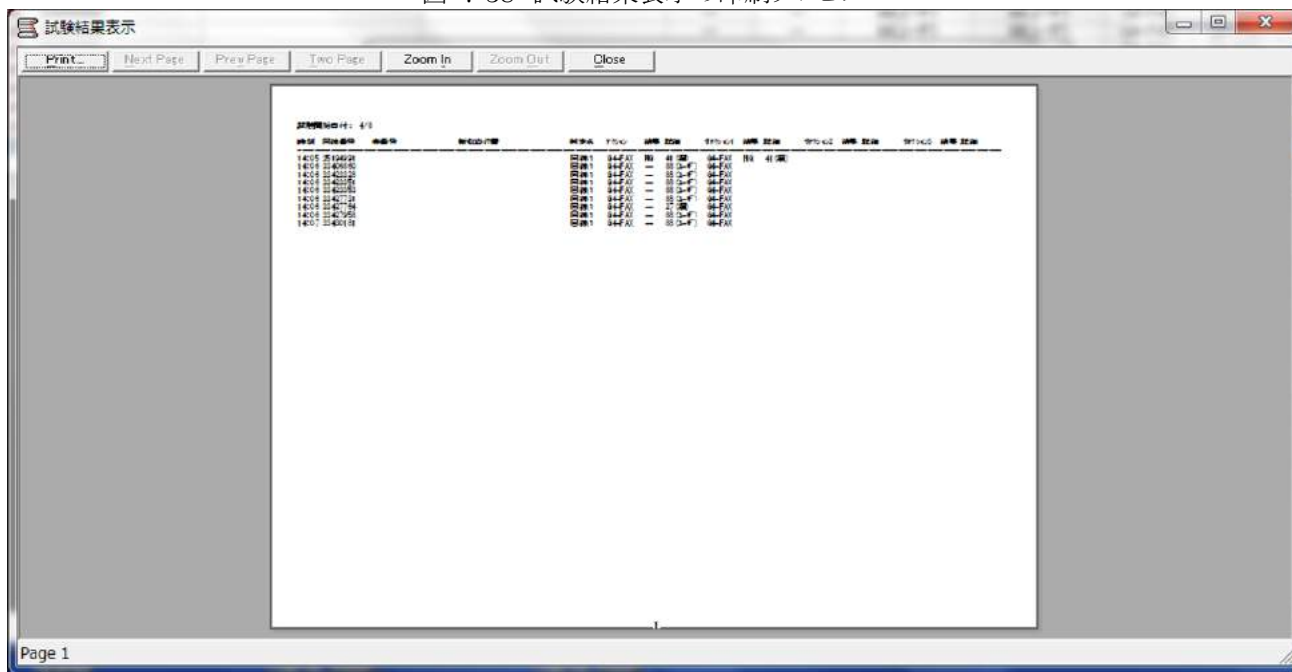
- (2) プリンタの設定、印刷範囲の設定、印刷部数の設定を行います。
- (3) 「OK」をクリックすると印刷が開始されます。「キャンセル」をクリックすると印刷画面は閉じられます。

7.14.3 印刷プレビュー

試験結果の印刷イメージを画面に表示します。

- (1) メニューの[機能(F)]-[印刷プレビュー(V)]を選択すると、図 7-38の画面に切替ります。

図 7-38 試験結果表示の印刷プレビュー



- (2) 「印刷(P)」をクリックすると印刷を開始します。
- (3) 「次ページ(N)」をクリックすると次のページを表示します。ただし、最終ページを表示している場合は、本ボタンはクリックできない状態となります。
- (4) 「前ページ(V)」をクリックすると前のページを表示します。ただし、先頭ページを表示している場合は、本ボタンはクリックできない状態となります。
- (5) 「2ページ(T)」をクリックすると2頁分を1つの画面に表示します。本ボタンをクリックすると、「1ページ(O)」が変わりに表示され、このボタンをクリックすると元に戻ります。
- (6) 「拡大(I)」をクリックすると画面の内容が拡大表示されます。拡大表示は2段階あります。
- (7) 「縮小(O)」をクリックすると画面の内容が縮小表示されます。本ボタンは拡大表示された画面を元に戻す時に使用するため、拡大表示されていない場合はクリックできない状態となります。
- (8) 「閉じる(C)」をクリックすると印刷プレビュー画面を閉じ元の試験結果表示画面に戻ります。

7.14.4 プリンタの設定

プリンタの設定を行います。

- (1) メニューの[機能(F)]-[プリンタの設定(R)]を選択すると、図 7-39のダイアログが表示されます。

図 7-39 プリンタ設定



- (2) プリンタ, 用紙(サイズ/給紙方法), 印刷の向き(縦/横)の設定を行います。
- (3) 「OK」をクリックすると設定内容が保存され、画面を閉じます。「キャンセル」をクリックすると設定内容はキャンセルされます。

7.14.5 余白設定

印刷用紙の上部端からの上部余白と左端からの左側余白を設定します。

- (1) メニューの[機能(F)]-[余白の設定(M)]を選択すると、図 7-29のダイアログが表示されます。

図 7-29 余白設定



- (2) 上部余白と左側余白を設定します。デフォルト値は“10”mm で、設定可能範囲は“0”～“50”mm です。ただし、最小値が実際に印刷するときのプリンタの印刷不能領域を内までを指定されている場合、印刷不能領域が余白の最小値として印刷します。

7.14.6 元に戻す

削除した内容を元に戻します。

メニューの[編集(E)]-[元に戻す(U)]を選択すると、前回削除した内容が元に戻ります。一度、元に戻すと[元に戻す(U)]メニューは無効状態となります。

7.14.7 削除

表示内容を削除します。

- (1) 削除したい内容を画面上から選択します。
- (2) メニューの[編集(E)]-[削除(D)]を選択すると、図 7-30 のメッセージが表示されます。

図 7-30 試験結果表示の削除確認



- (3) 削除する場合は「はい(Y)」を、キャンセルする場合は「いいえ(N)」をクリックします。「はい(Y)」をクリックすると選択されている内容が画面上より削除されます。

7.15 比較結果表示について

比較結果の表示および印刷を行います

メニューの[機能(F)]-[比較結果表示(M)]を選択すると、図 7-31 の画面が表示され、事前試験と事後試験の比較結果の内容が表示されます。

図 7-31 回線交換の比較結果表示

時刻	回線番号	裏番号	新取容位置	比較結果	事前試験結果	事後1回目結果	事後2回目結果	事後3回目結果	事後4回目結果
14:05	35184991			要確認	--:88(2-サ)	NG:41(網)	NG:41(網)		
14:06	33408880			--	--:88(2-サ)	--:88(2-サ)			
14:06	33423328			--	--:88(2-サ)	--:88(2-サ)			
14:06	33423351			--	--:88(2-サ)	--:88(2-サ)			
14:06	33423353			--	--:88(2-サ)	--:88(2-サ)			
14:06	33427731			--	--:88(2-サ)	--:88(2-サ)			
14:06	33427754			--	--:27(網)	--:27(網)			
14:06	33427958			--	--:88(2-サ)	--:88(2-サ)			
14:07	33430181			--	--:17(網)	--:88(2-サ)			

■表示項目説明

表 7-7 に比較結果表示で表示される項目について説明します。

表 7-7 比較結果表示項目一覧

項目	説明
試験開始日付	該当試験の開始日付が表示されます。
時刻	該当試験の開始時刻が表示されます。
回線番号	該当試験の回線番号が表示されます。
新收容位置	收容位置情報が表示されます。(最大全角 13 文字分)
事前試験結果	事前試験の結果を表示します。 試験結果が OK の場合は“--”を表示し、NG の場合は詳細内容(理由表示値)を表示します。
事後1回目結果	事後試験でのアクション結果が表示されます。 試験結果が OK の場合は、“--”を表示し、NG の場合は詳細内容(理由表示値)を表示します。
事後2回目結果	リアクション1の結果が表示されます。 試験結果が OK の場合は、“--”を表示し、NG の場合は詳細内容(理由表示値)を表示します。
事後3回目結果	リアクション2の結果が表示されます。 試験結果が OK の場合は、“--”を表示し、NG の場合は詳細内容(理由表示値)を表示します。
事後4回目結果	リアクション3の結果が表示されます。 試験結果が OK の場合は“--”を表示し、NG の場合は詳細内容(理由表示値)を表示します。
確認要否	事前と事後の試験結果を比較し結果を表示します。 比較結果が OK の場合は“--”を表示し、NG の場合は“要確認”を表示します。

注意 ・比較結果表示は、試験が終了した順番に表示されるため、試験リストの順番とは異なります。

■メニューの説明

表 7-8 に試験結果表示でのメニューについて説明します。

表 7-8 比較結果表示メニュー一覧

メニュー	ショートカット	説明
機能(F)		
更新(N)	F5	試験結果を最新情報に更新します。
印刷(P)	Ctrl+P	試験結果を印刷します。※1
印刷プレビュー(V)		試験結果の印刷イメージを画面上に表示します。
プリンタの設定(R)		試験結果を印刷します。※2
余白の設定(M)		印刷時における余白の設定をします。※2
閉じる(X)		試験結果画面を閉じます。
編集(E)		
元に戻す(U)	Ctrl+Z	削除した試験結果項目を元に戻します。
削除(D)	Delete	選択した試験結果項目を削除します。

なお、

印刷(7.14.2 節)

プリンタの設定(7.14.4 節)

余白の設定(7.14.5 節)

元に戻す(7.14.6 節)

につきましては、それぞれ括弧内に示されている節を参照して下さい。

7.15.1 画面更新

比較結果を最新の情報にします。

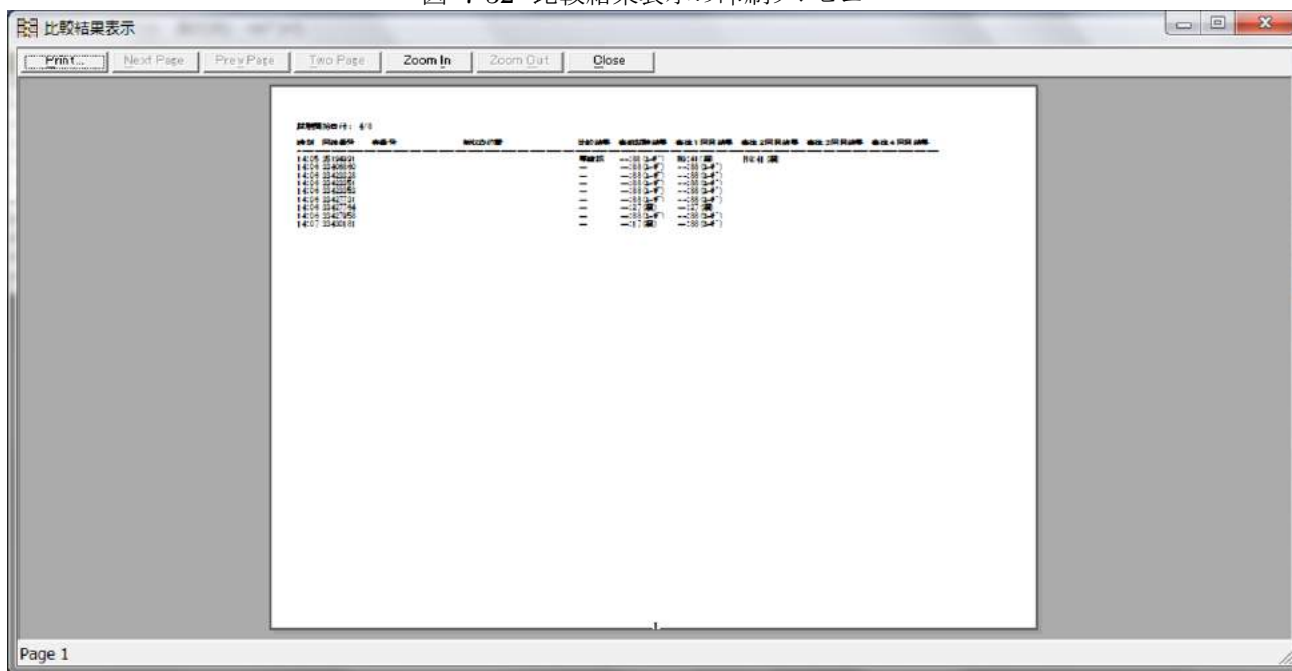
メニューの[機能(F)]-[更新(N)]を選択、またはF5キーを押下すると、比較結果の最新情報が画面に表示されます。

7.15.2 印刷プレビュー

比較結果の印刷イメージを画面に表示します。

(1) メニューの[機能(F)]-[印刷プレビュー(V)]を選択すると、図 7-32 の画面に切替ります。

図 7-32 比較結果表示の印刷プレビュー



(2) 「印刷(P)」をクリックすると印刷を開始します。

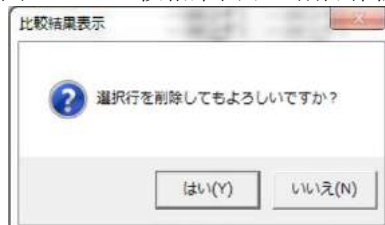
- (3) 「次ページ(N)」をクリックすると次のページを表示します。ただし、最終ページを表示している場合は、本ボタンはクリックできない状態となります。
- (4) 「前ページ(V)」をクリックすると前のページを表示します。ただし、先頭ページを表示している場合は、本ボタンはクリックできない状態となります。
- (5) 「2ページ(T)」をクリックすると2頁分を1つの画面に表示します。本ボタンをクリックすると、「1ページ(O)」が変わりに表示され、このボタンをクリックすると元に戻ります。
- (6) 「拡大(I)」をクリックすると画面の内容が拡大表示されます。拡大表示は2段階あります。
- (7) 「縮小(O)」をクリックすると画面の内容が縮小表示されます。本ボタンは拡大表示された画面を元に戻す時に使用するため、拡大表示されていない場合はクリックできない状態となります。
- (8) 「閉じる(C)」をクリックすると印刷プレビュー画面を閉じ元の試験結果表示画面に戻ります。

7.15.3 削除

表示内容を削除します。

- (1) 削除したい内容を画面上から選択します。
- (2) メニューの[編集(E)]-[削除(D)]を選択すると、図 7-33 のメッセージが表示されます。

図 7-33 比較結果表示の削除確認



- (3) 削除する場合は「はい(Y)」を、キャンセルする場合は「いいえ(N)」をクリックします。「はい(Y)」をクリックすると選択されている内容が画面上より削除されます。

7.16 比較集計結果表示について

比較集計結果の表示および印刷を行います

メニューの[機能(F)]-[比較集計結果表示(N)]を選択すると、比較集計を行います。集計が終了したら図 7-34 の画面が表示されます。

- 注意**
- ・集計には、パソコンのスペック及び試験数により時間がかかる場合があります。
 - ・集計中に「キャンセル」ボタンをクリックすると、比較集計は破棄されます。

図 7-34 回線交換の比較集計結果表示

エラーコード	エラー名	件数	件数
83	指定された中断呼識別番号未使用	0	0
84	中断呼識別番号使用中	0	0
85	中断呼なし	0	0
86	指定中断呼切断回数超過	0	0
87	コネクトがCUGのメンバーではない	0	0
88	端末属性不一致	16	15
89	無効中継網選択	0	0

事前試験まとめ(件)			
NG想定要因数	1		
問題なし	21	NG遭遇率	4.55%

事後試験まとめ(件)			
NG想定要因数	2		
問題なし	20		
確認要件数	1	NG遭遇率	9.09%
		最終NG残率	4.55%

再着信による回復状況(件)			
NG総数	2		
回復件数	0	再着呼回復率	0.00%

■表示項目説明

●回線交換試験の表示内容

図 7-35 に比較集計結果の表示イメージを、表 7-9～表 7-13 に比較集計結果で表示される項目について説明します。

図 7-35 回線交換の比較集計表示

理由表示	理由種別	巻取前(件)	巻取後(件)
0	問題なし	XX	XX
1	欠番	XX	XX
2	指定中継網へのルートなし	XX	XX
3	相手へのルートなし	XX	XX
6	チャネル利用不可	XX	XX
:	:	:	:
101	呼状態とメッセージ不一致	XX	XX
102	タイマ満了による回復	XX	XX
111	その他の手順誤りクラス	XX	XX
127	その他のインターワーキングクラス	XX	XX
T3. T. O	T3タイムアウト発生	XX	XX
その他	その他のエラー	XX	

合計件数	XXX	XXX
------	-----	-----

事前試験まとめ(件)

NG想定要因数	XX		
問題なし	XX	NG遭遇率	XXX%

事後試験まとめ(件)

NG想定要因数	XX		
問題なし	XX		
確認要件数	XX	NG遭遇率	XXX%
		最終NG遭遇率	XXX%

再着信による回復状況(件)

NG総数	XX		
回復件数	XX	再着呼回復率	XXX%

事後データのNG要因分析(件)

理由表示	事後試験件数	事前試験との合致率
#1	XX	XX
#18	XX	XX
#21	XX	XX
#27	XX	XX
#41	XX	XX
T3. T. O	XX	XX
事前試験と事後試験のNG合致率		XXX%

(1) 理由表示一覧

表 7-9 理由表示一覧

項目	算出方法
理由表示	技術参考資料に記述されている理由表示値、試験が正常に終了したコード、事前試験でNGして判断された理由表示値の試験数の総和
理由種別	該当理由表示値に対する説明が表示されます。
巻取前(件)	該当理由表示値に対する事前試験で発生した件数が表示されます。
巻取後(件)	該当理由表示値に対する事後試験で発生した件数が表示されます。
合計件数	巻取前(件)および巻取後(件)のトータル件数。※試験数と同じになります。

(2) 事前試験まとめ(件)

表 7-10 事前試験まとめ(件)

項目	算出方法
NG想定要因数	事前試験でNGして判断された理由表示値の試験数の総和
問題なし	全試験数－NG想定要因数
NG遭遇率	NG想定要因数／全試験数

(3) 事後試験まとめ(件)

表 7-11 事後試験まとめ(件)

項目	算出方法
NG想定要因数	事後試験でNGして判断された理由表示値の試験数の総和
問題なし	全試験数－NG想定要因数
確認要件数	比較結果で確認要となっている件数の総和
NG遭遇率	NG想定要因数／全試験数
最終NG遭遇率	確認要件数／全試験数

(4) 再着信による回復状況

表 7-12 再着信による回復状況

項目	算出方法
NG総数	事後試験の初回NG数
回復件数	事後試験の初回NGから再試験OKとなった件数
再着呼回復率	回復件数／NG総数

(5) 事後データのNG要因分析(件)

表 7-13 事後データのNG要因分析(件)

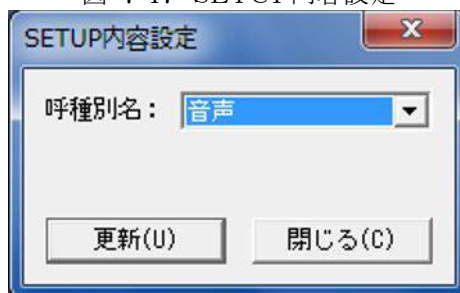
項目	算出方法
事後試験数	NGと設定された理由表示に対して事後試験での最後に得られた結果を集計
事前試験との合致数	NGと設定された理由表示に対して事前試験と事後試験で電話番号と理由表示が一致している件数
事前試験と事後試験のNG合致率	事前試験との合致数の総和／事後試験数の総和

7.17 SETUP 内容設定について

呼種別単位での SETUP 内容を設定します。

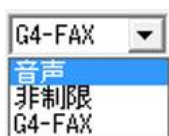
- (1) メニューの[機能(F)]-[SETUP内容設定(S)]を選択、または Ctrl+S キーを押下すると、図 7-のダイアログが表示されます。

図 7-47 SETUP内容設定



- (2) 呼種別名を選択します。

「呼種別名」をマウスでクリックすると呼種別名の一覧がプルダウンメニューで表示されますので、呼種別名を選択します。また、「呼種別名」にフォーカスを移動し、↑、↓キーを押下すると呼種別名が変わりません。選択できる呼種別名は、“音声”，“非制限”，“G4-FAX”の計3種類です。



「呼種別名」のプルダウンメニュー

- (3) 「更新(U)」をクリックすると、図 7-のメッセージが表示されます。

図 7-48 SETUP内容設定確認



- (4) 設定した内容で更新してSETUP内容設定を終了する場合は「更新して終了」を、設定した内容で更新してSETUP内容設定を継続する場合は「更新して継続」を、設定内容をキャンセルする場合は「キャンセル」をクリックします。「更新して終了」または「更新して継続」をクリックすると設定した内容が保存されます。

- (5) 図 7-のダイアログで「閉じる(C)」をクリックまたはESCキーを押下すると、試験リスト画面に戻ります。

注意 ・規定された呼種別に対してのみ変更可能とし、新規の呼種別を登録することは出来ません。
・設定項目を変更した状態で、更新ボタンを押下せずに、別の呼種別名を選択した場合は、変更内容は無効となります。

7.18 判定基準設定について

判定名単位での判定基準の設定を行います。

- (1) メニューの[機能(F)]-[判定基準設定(H)]を選択、または Ctrl+J キーを押下すると、図 7-のダイアログが表示され、設定されている判定基準内容が表示されます。

図 7-49 回線交換の判定基準設定

判定基準設定

判定名: 回線 1

更新(U)

閉じる(C)

判定基準 1

判定基準 1 を有効にする

生成源: 網 NG情報: 18,27

NG情報を全理由表示値に設定する

判定基準 2

判定基準 2 を有効にする

生成源: ユーザ NG情報: 21

NG情報を全理由表示値に設定する

(2) 判定名を選択します。

「判定名」をマウスでクリックすると判定名の一覧がプルダウンメニューで表示されますので、判定名を選択します。また、「判定名」にフォーカスを移動し、↑、↓キーを押下すると判定名が変わります。判定名を選択すると、設定されている判定基準の情報が画面に表示されます。選択できる判定名は、“回線1”～“回線10”の10種類で設定できます。



「判定名」のプルダウンメニュー

以降、(3)～(5)までは、回線交換試験の場合

(3) 判定基準1/2を有効または無効状態にします。

「判定基準を有効にする」にフォーカスを移動しSPCキーを押下、またはマウスでクリックすると有効(チェック)状態/無効(未チェック)状態が切替わります。有効状態にすると、「生成源」、「NG 情報」の設定が可能となり、無効状態にすると設定不可状態となります。



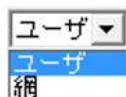
判定基準を有効にした状態



判定基準を無効にした状態

(4) 生成源を選択します。

「生成源」をマウスでクリックすると生成源の一覧がプルダウンメニューで表示されますので、“ユーザ”，“網”のいずれかを選択します。また、「生成源」にフォーカスを移動し、↑、↓キーを押下することでも選択可能です。



「生成源」のプルダウンメニュー

注意 ・生成源で表示される“ユーザ”と“網”に対する生成源の種類を以下に記述します。

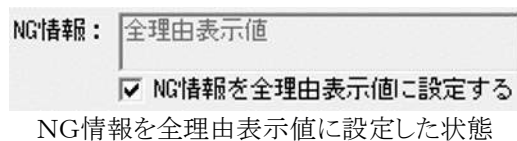
判定基準での生成源表示	生成源の種類
ユーザ	ユーザ (U)
	ローカルユーザ収容私設網 (自分側) (LPN)
	リモートユーザ収容私設網 (相手側) (RPN)
網	ローカルユーザ収容公衆網 (自分側) (LN)
	リモートユーザ収容公衆網 (相手側) (RN)
	中継網 (TN)
	国際網 (INTL)
	インターワーキング先の網 (BI)

(5) NG情報の設定を行います。

1. 「NG情報」にフォーカスを移動し、判定がNGとなる理由表示値を“,” (カンマ) 区切りで入力します。
理由表示値は最大20個まで登録可能です。

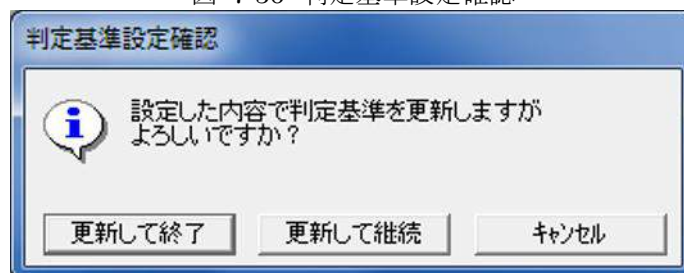
2. NG情報を全理由表示値に設定する場合は、「NG情報を全理由表示値に設定する」にフォーカスを移動しSPCキーを押下、またはマウスでクリックすると有効(チェック)状態/無効(未チェック)状態が切替ります。

有効状態にすると、「NG 情報」の入力が可能となり、無効状態にすると「NG情報」に“全理由表示値”と表示され入力不可状態となります。



(6) 「更新(U)」をクリックすると、図 7-36 のメッセージが表示されます。

図 7-36 判定基準設定確認



- (7) 設定した内容で更新して判定基準設定を終了する場合は「更新して終了」を、設定した内容で更新して判定基準設定を継続定する場合は「更新して継続」を、設定内容をキャンセルする場合は「キャンセル」をクリックします。「更新して終了」または「更新して継続」をクリックすると設定した内容が保存されます。
- (8) 図 7-のダイアログで「閉じる(C)」をクリックまたはESCキーを押下すると、試験リスト画面に戻ります。

注意 ・規定された判定名に対してのみ変更可能とし、新規の判定名を登録することは出来ません。
・設定項目を変更した状態で、更新ボタンを押下せずに、別の判定名を選択した場合は、変更内容は無効となります。

7.19 アクション設定について

試験項目のアクションの設定を行います。

- (1) メニューの[機能(F)]-[アクション設定(D)]を選択、または Ctrl+D キーを押下すると、図 7-37 のダイアログが表示され、設定されているアクション内容が表示されます。

図 7-37 回線交換のアクション設定

アクション設定

アクション名: アクション1(デフォルト)

更新(U)

閉じる(C)

アクション情報

アクション 呼種別名: G4-FAX サブアドレス: *01

リアクション1 呼種別名: 非制限 サブアドレス: *02

リアクション2 呼種別名: 非制限 サブアドレス:

リアクション3 呼種別名: G4-FAX サブアドレス:

発番号通知: ON OFF

判定基準

判定名: 回線1

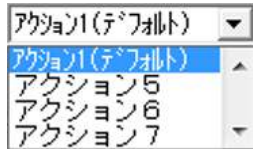
生成源: NG情報:

生成源: NG情報:

リトライ間隔: 単位(秒)

- (2) アクション名を設定します。

「アクション名」をマウスでクリックするとアクション名の一覧がプルダウンメニューで表示されますので、アクション名を選択します。また、「アクション名」にフォーカスを移動し、↑、↓キーを押下するとアクション名が変わります。アクション名を選択すると、設定されているアクションの情報が画面に表示されます。選択できるアクション名は、回線交換用に“アクション1(デフォルト)”～“アクション10”の10種類、ら設定できます。



「アクション名」のプルダウンメニュー

以降、(3)～(9)までは、回線交換試験の場合

- (3) アクション情報は、1つのアクションと最大3つのリアクションが設定可能で、個々のアクションまたはリアクションに対して「呼種別名」、「サブアドレス」の設定を行います
- (4) アクションまたはリアクションを有効／無効状態に設定します。

「アクション」または「リアクション」にフォーカスを移動しSPCキーを押下、またはマウスでクリックすると有効(チェック)状態／無効(未チェック)状態が切替ります。有効状態にすると「呼種別名」、「サブアドレス」の設定が可能となり、無効状態にすると設定不可状態となります。



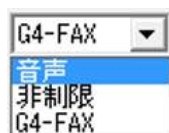
リアクションを有効にした状態



リアクションを無効にした状態

- (5) 呼種別名を選択します。

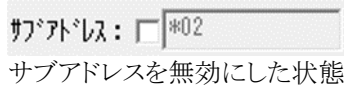
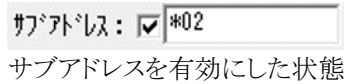
「呼種別名」をマウスでクリックすると呼種別名の一覧がプルダウンメニューで表示されますので、呼種別名を選択します。また、「呼種別名」にフォーカスを移動し、↑、↓キーを押下すると呼種別名が変わります。選択できる呼種別名は、“音声”，“非制限”，“G4-FAX”の計3種類です。



「呼種別名」のプルダウンメニュー

- (6) サブアドレスの設定を行います。

設定した「呼種別名」に対して、「サブアドレス」を設定します。「サブアドレス」にフォーカスを移動しSPCキーを押下、またはマウスでクリックすると有効(チェック)状態／無効(未チェック)状態が切替ります。有効状態にすると「サブアドレス」の入力が可能となり、無効状態にすると入力不可状態となります。「サブアドレス」の入力は、“*”，“0”～“9”の文字で最大20文字まで入力可能です。



- (7) 発番号通知の設定を行います。

「発番号通知」の“ON”／“OFF”をマウスでクリックするか、「発番号通知」にフォーカスを移動し、←、→キーを押下すると“ON”／“OFF”が切替ります。

- (8) 判定基準の設定を行います。

「判定名」をマウスでクリックすると判定名の一覧がプルダウンメニューで表示されますので、判定名を選択します。また、「判定名」にフォーカスを移動し、↑、↓キーを押下すると判定名が変わります。判定名を選択すると、設定されている判定基準の情報が画面に表示されます。



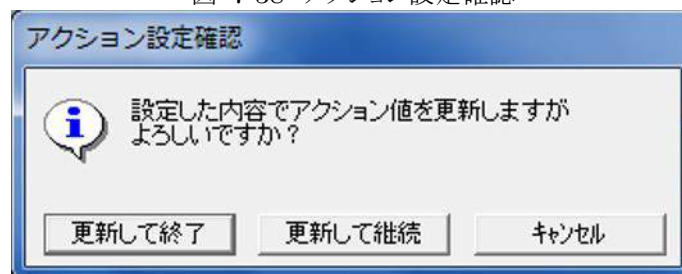
「判定名」のプルダウンメニュー

- (9) リトライ間隔の設定を行います。

「リトライ間隔」にフォーカスを移動し、0～60(秒)の間で入力します。

- (10) 「更新(U)」をクリックすると、図 7-38 のメッセージが表示されます。

図 7-38 アクション設定確認



- (11) 設定した内容で更新してアクション設定を終了する場合は「更新して終了」を、設定した内容で更新してアクション設定を継続する場合は「更新して継続」を、設定内容をキャンセルする場合は「キャンセル」をクリックします。「更新して終了」または「更新して継続」をクリックすると設定した内容が保存されます。

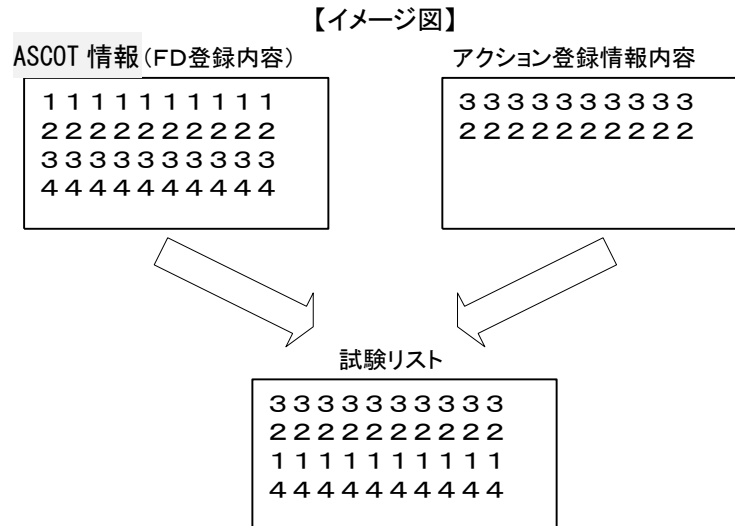
(12) 「閉じる(C)」をクリックまたはESCキーを押下すると、試験リスト画面に戻ります。

注意 ・設定項目を変更した状態で、更新ボタンを押下せずに、画面を閉じた場合は変更内容は無効となります。

7.20 新収容位置アクション登録について

新収容位置に対するアクションの設定を行います。新収容位置は、最大200件登録可能です。

この新収容位置別アクション登録は、ASCOT 情報から試験リストを生成する場合に、登録されている新収容位置順及びアクション内容が試験リストに反映されます。



- (1) メニューの[機能(F)]-[新収容位置別アクション登録(E)]を選択、またはF9キーを押下すると、図 7-39 のダイアログが表示されます。

図 7-39 新収容位置別アクション登録

新収容位置別アクション登録		
機能(F)	編集(E)	
No	新収容位置	回線交換アクション
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		

■メニューについて

表 7-14 メニューの説明

メニュー	ショートカット	説明
機能(F)		
ファイルからの読み込み		アクション登録データをファイルから読み込みます。
ASCOT 情報読み込み(I)	F2	ASCOT の情報をアクション登録へ反映させます。
保存データ読み込み(R)	Ctrl+R	保存したデータをアクション登録へ反映させます。
閉じる(C)		新収容位置別アクション登録画面を閉じます。
上書き保存(S)	Ctrl+S	設定されているデータを上書き保存します。
名前を付けて保存(A)		設定されているデータを名前を付けて保存します。
編集(E)		
削除(D)	Delete	指定されたアクション登録データを削除します。
全データクリア(A)	Ctrl+A	全てのアクション登録データを削除します。
上へ移動(H)	Ctrl+ ↑	指定されたアクション登録データを上へ移動します。
下へ移動(L)	Ctrl+ ↓	指定されたアクション登録データを下へ移動します。

図 7-40 メニュー表示



- (2) 新収容位置別のアクション設定を行います。設定方法には、ASCOT 情報を元に設定(7.20.1ASCOT 情報読み込み参照)、保存したデータを元に設定(7.20.2 保存データ読み込み参照)、入力による設定(7.20.3 アクション情報入力設定参照)の3種類があります。
- (3) 登録されている新収容位置別のアクション設定を削除する場合は、削除したいアクション設定を選択した後、メニューの[編集(E)]-[削除(D)]を選択、または Delete キーを押下すると、図 7-41 のように削除されます。また、アクション設定の選択は連続した複数が選択可能です。

図 7-41 アクション設定削除

[削除前]			[削除後]		
No	新収容位置	回線交換アクション	No	新収容位置	回線交換アクション
1	20000000	アクション1(デフォルト)	1	20000000	アクション1(デフォルト)
2	20000001	アクション1(デフォルト)	2	20000001	アクション1(デフォルト)
3	20000002	アクション1(デフォルト)	3		
4	20000003	アクション1(デフォルト)	4	20000003	アクション1(デフォルト)
5	20000004	アクション1(デフォルト)	5	20000004	アクション1(デフォルト)
6	20000005	アクション1(デフォルト)	6	20000005	アクション1(デフォルト)
7	20000006	アクション1(デフォルト)	7	20000006	アクション1(デフォルト)
8	20000007	アクション1(デフォルト)	8	20000007	アクション1(デフォルト)
9	20000008	アクション1(デフォルト)	9	20000008	アクション1(デフォルト)

- (4) 登録されている新収容位置別のアクション設定を全て削除する場合は、メニューの[編集(E)]-[全データクリア(A)]を選択、または Ctrl+A キーを押下すると、図 7-42 のように削除されます。

図 7-42 アクション設定全削除

[削除前]			[削除後]		
No	新収容位置	回線交換アクション	No	新収容位置	回線交換アクション
1	20000000	アクション1(デフォルト)	1		
2	20000001	アクション1(デフォルト)	2		
3	20000002	アクション1(デフォルト)	3		
4	20000003	アクション1(デフォルト)	4		
5	20000004	アクション1(デフォルト)	5		
6	20000005	アクション1(デフォルト)	6		
7	20000006	アクション1(デフォルト)	7		
8	20000007	アクション1(デフォルト)	8		
9	20000008	アクション1(デフォルト)	9		

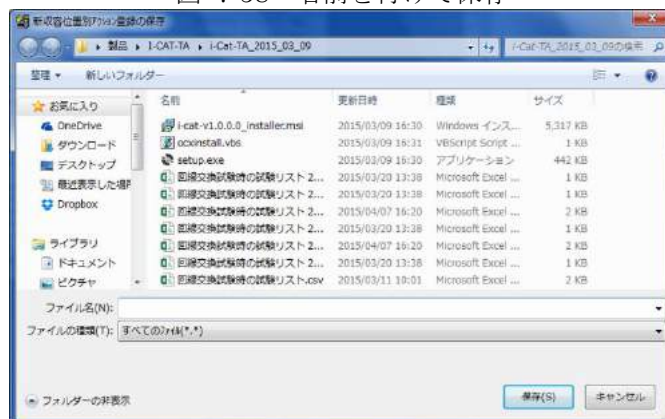
- (5) 登録されている新収容位置別のアクション設定の順番を変更する場合は、メニューの[編集(E)]-[上へ移動(H)]、[下へ移動(H)]を選択、または Ctrl+↑、Ctrl+↓キーを押下すると、図 7-57 のように移動されます。移動できるアクション設定は1つのみで、複数選択した場合は、最初に選択したアクション設定が移動します。

図 7-57 アクション設定順番変更

[移動前]			[上へ移動後]		
No	新収容位置	回線交換アクション	No	新収容位置	回線交換アクション
1	20000000	アクション1(デフォルト)	1	20000000	アクション1(デフォルト)
2	20000001	アクション1(デフォルト)	2	20000001	アクション1(デフォルト)
3	20000002	アクション1(デフォルト)	3	20000002	アクション1(デフォルト)
4	20000003	アクション1(デフォルト)	4	20000004	アクション1(デフォルト)
5	20000004	アクション1(デフォルト)	5	20000003	アクション1(デフォルト)
6	20000005	アクション1(デフォルト)	6	20000005	アクション1(デフォルト)
7	20000006	アクション1(デフォルト)	7	20000006	アクション1(デフォルト)
8	20000007	アクション1(デフォルト)	8	20000007	アクション1(デフォルト)
9	20000008	アクション1(デフォルト)	9	20000008	アクション1(デフォルト)

- (6) 設定した新収容位置別アクション登録内容を保存する場合は、メニューの[機能(F)]-[上書き保存(S)]、[名前を付けて保存(A)]を選択します。[名前を付けて保存(A)]を選択した場合は、のダイアログが表示されますので、名前を入力し保存します。

図 7-58 名前を付けて保存

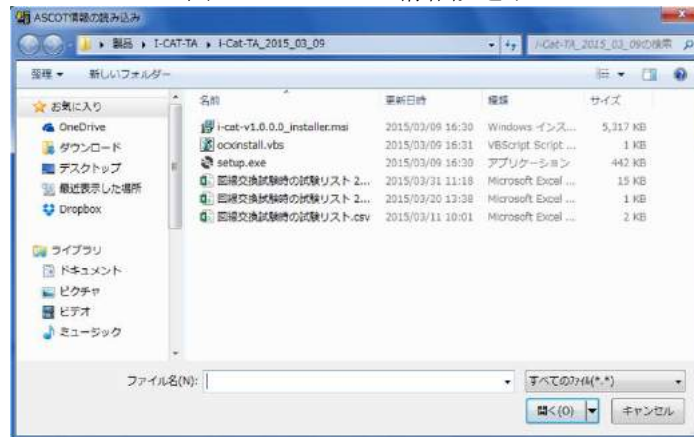


7.20.1 ASCOT 情報読み込み

ASCOT 情報を元にアクション設定を行います。

- (1) メニューの[機能(F)]-[ファイルからの読み込み]-[ASCOT 情報読み込み(I)]を選択、またはF2を押下すると、
図 7-のダイアログが表示されます。

図 7-59 ASCOT 情報読み込み



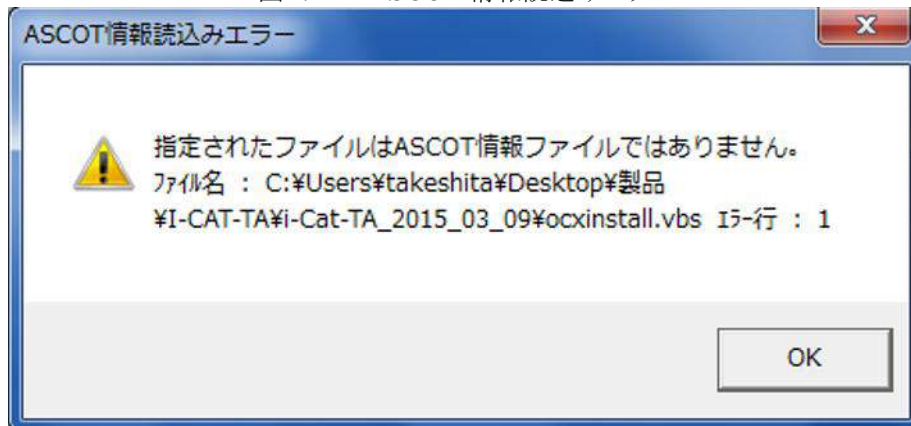
- (2) 読み込む ASCOT 情報ファイルを選択し、開くボタンを押下します。正常にデータが読み込まれた場合は、
図 7-43 のようにデータが表示されます。この時、回線交換の設定はデフォルト(回線交換アクションは
“アクション1(デフォルト)”)の設定となります。

図 7-43 ASCOT 情報読み込み完了

新収容位置別アクション登録		
機能(F)	編集(E)	
No	新収容位置	回線交換アクション
1	200000000	アクション1(デフォルト)
2	200000001	アクション1(デフォルト)
3	200000002	アクション1(デフォルト)
4	200000004	アクション1(デフォルト)
5	200000003	アクション1(デフォルト)
6	200000005	アクション1(デフォルト)
7	200000006	アクション1(デフォルト)
8	200000007	アクション1(デフォルト)
9	200000008	アクション1(デフォルト)
10	200000009	アクション1(デフォルト)
11	200000010	アクション1(デフォルト)
12	200000011	アクション1(デフォルト)
13	200000012	アクション1(デフォルト)
14	200000013	アクション1(デフォルト)
15	200000014	アクション1(デフォルト)
16	200000015	アクション1(デフォルト)
17	200000016	アクション1(デフォルト)
18	200000017	アクション1(デフォルト)
19	200000018	アクション1(デフォルト)
20	200000019	アクション1(デフォルト)

- (3) ASCOT 情報データの読み込みに失敗した場合(フォーマットエラー等)は、図 7-44 のメッセージが表示されます。

図 7-44 ASCOT 情報読み込みエラー

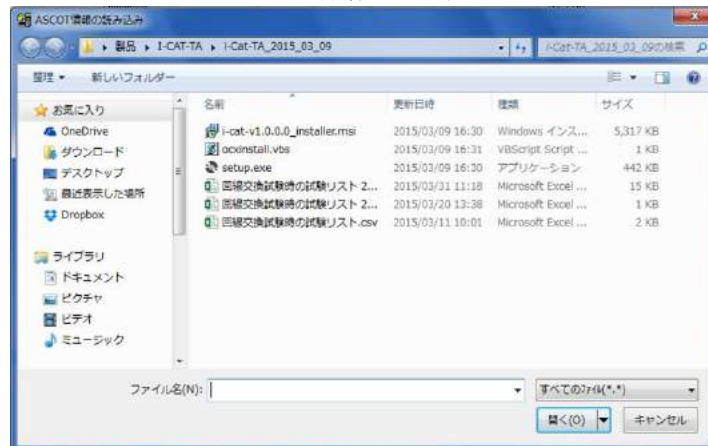


7.2.0.2 保存データ読み込み

保存されている新収容位置別アクション登録データの設定を行います。

- (1) メニューの[機能(F)]-[ファイルからの読み込み]-[保存データ読み込み(R)]を選択、または Ctrl+R を押下すると、図 7-45 のダイアログが表示されます。

図 7-45 保存データ読み込み



- (2) 読み込む保存データファイルを選択し、開くボタンを押下します。正常にデータが読み込まれた場合は、図 7-46 のようにデータが表示されます。

図 7-46 保存データ読み込み完了

新収容位置別アクション登録		
No	新収容位置	回線交換アクション
1	200000000	アクション1(テフォルト)
2	200000001	アクション1(テフォルト)
3	200000002	アクション1(テフォルト)
4	200000004	アクション1(テフォルト)
5	200000003	アクション1(テフォルト)
6	200000005	アクション1(テフォルト)
7	200000006	アクション1(テフォルト)
8	200000007	アクション1(テフォルト)
9	200000008	アクション1(テフォルト)
10	200000009	アクション1(テフォルト)
11	200000010	アクション1(テフォルト)
12	200000011	アクション1(テフォルト)
13	200000012	アクション1(テフォルト)
14	200000013	アクション1(テフォルト)
15	200000014	アクション1(テフォルト)
16	200000015	アクション1(テフォルト)
17	200000016	アクション1(テフォルト)
18	200000017	アクション1(テフォルト)
19	200000018	アクション1(テフォルト)
20	200000019	アクション1(テフォルト)

7.20.3 アクション情報入力設定

新規に新収容位置に対するアクション登録を追加、または設定されている新収容位置及びアクション登録内容の変更を行います。

■新収容位置の追加及び変更

- (1) 追加または変更したい新収容位置をマウスにてダブルクリックすると、新収容位置が入力可能状態になりますので、新収容位置を入力します。
- (2) 新収容位置の入力が正しく終了しましたら、Enter キーを押下します。
- (3) 新規に新収容位置を設定した場合は、図 7-64 のようにデフォルト値が設定されます。

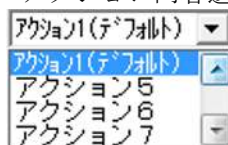
図 7-47 新収容位置追加完了時

1234567890	アクション1(デフォルト)
------------	---------------

■回線交換アクション設定変更

- (1) 変更したいアクションをクリックすると選択可能リストが図 7-48 のように表示されますので、変更したい内容を選択します。

図 7-48 アクション内容選択リスト



- (2) 回線交換アクションは、“アクション1(デフォルト)”、“アクション2”～“アクション10”から選択できます。

8 着呼試験モード

ここでは、「着呼試験モード」を実行するための設定方法や操作手順について説明します。

なお、

試験タイプ／モードの切替設定について(7.1 節)

ASCOT 情報読込みについて(7.4 節)

試験リストの読込みについて(7.5 節)

試験リストの保存について(7.5 節)

試験項目設定について(7.11 節)

試験電話番号削除について(7.12 節)

試験リスト絞込みについて(7.13 節)

試験結果表示について(7.14 節)

SETUP内容設定について(7.17 節)

判定基準設定について(7.18 節)

アクション設定について(7.19 節)

新収容位置別アクション登録について(7.20 節)

につきましては、それぞれ括弧内に示されている節を参照して下さい。

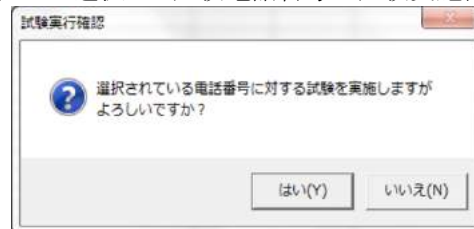
8.1 試験の実行について

試験の実行には、「選択した電話番号の試験実施」と「試験リスト全電話番号の試験実施」の2種類があります。「選択した電話番号の試験実施」は、試験リスト上で選択されている試験項目の試験を実行します。「試験リスト全電話番号の試験実施」は、試験リストに登録されている全ての試験項目に対して試験を実行します。

(1) 選択した電話番号の試験実施を行う場合

試験リストで試験を行う電話番号を選択した後、メニューの[実行(R)]-[選択した電話番号の試験実施(S)]を選択、またはF6キーを押下すると、図 8-1 のメッセージが表示されます。「はい(Y)」をクリックすると選択されている電話番号に対する試験が実行されます。「いいえ(N)」をクリックすると試験実行はキャンセルされます。

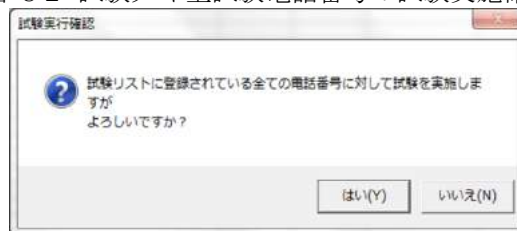
図 8-1 選択した試験電話番号の試験実施確認



(2) 試験リスト全電話番号の試験実施を行う場合

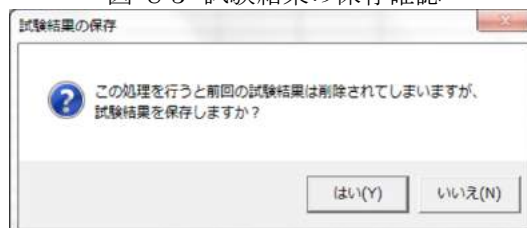
メニューの[実行(R)]-[試験リスト全電話番号の試験実施(A)]を選択、またはF7キーを押下すると、図 7-5 のメッセージが表示されます。「はい(Y)」をクリックすると試験リストに登録されている全ての電話番号に対して試験が実行されます。「いいえ(N)」をクリックすると試験実行はキャンセルされます。

図 8-2 試験リスト全試験電話番号の試験実施確認



(3) 前回の試験結果を保存しないで、再度、試験の実行をしようとした場合は、図 7-6 のメッセージが表示されます。「はい(Y)」をクリックすると『試験結果の保存』ダイアログ(「7.9 試験結果の保存について」参照)が表示されます。「いいえ(N)」をクリックすると上記の『試験実行確認』ダイアログが表示されます。

図 8-3 試験結果の保存確認

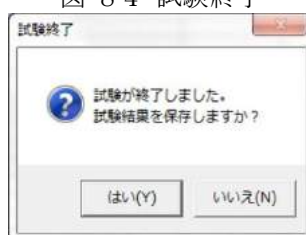


8.2 試験の停止について

試験の停止には、指定された試験電話番号に対する試験が全て終了した場合、試験が異常終了した場合とオペレータが試験を中断した場合の3種類があります。メニューの[実行(R)]-[停止(E)]を選択した場合、実行中の試験が停止されます。

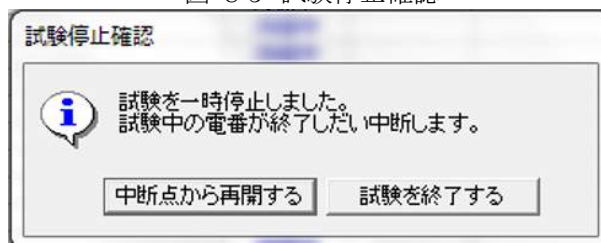
- (1) 指定された試験電話番号に対する試験が全て終了した場合または試験が異常終了した場合は、図 8-4 のメッセージが表示されます。「はい」をクリックすると、『試験結果の保存』ダイアログ(「8.3 試験結果の保存について」参照)が表示されます。「いいえ」をクリックすると試験結果は保存されずに試験リストに戻ります。

図 8-4 試験終了



- (2) メニューの[実行(R)]-[停止(E)]を選択、またはF8 キーを押下すると、図 8-5 のメッセージが表示されます。「中断点から再開する」をクリックすると一時停止された試験から再度試験が開始されます。「試験を終了する」をクリックすると試験が終了され、『試験結果の保存』ダイアログ(「8.3 試験結果の保存について」参照)が表示されます。

図 8-5 試験停止確認



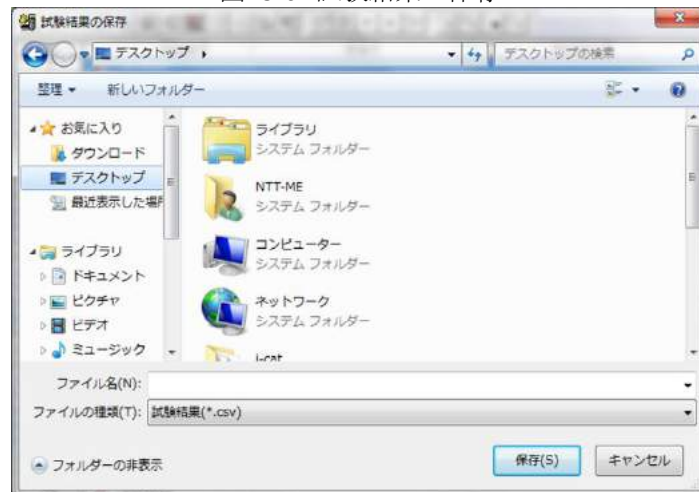
上記、ダイアログが表示されている場合は、試験は中断状態となっています。

8.3 試験結果の保存について

試験結果を“,”(カンマ)区切りのCSV形式のファイルに保存します。

メニューの[機能(F)]-[試験結果保存(A)]を選択、またはF4キーを押下すると、図 8-6 のダイアログが表示されますので、保存ファイル名を入力して「保存」をクリックします。試験結果の保存を行わない場合は「キャンセル」をクリックします。

図 8-6 試験結果の保存



8.3.1 保存内容について

事前試験結果、事後試験結果および比較結果の内容について説明します。

■回線交換試験

(1) 表 8-1 に試験結果の保存内容を示します。

表 8-1 回線交換試験の試験結果保存内容

項目	説明	
試験日時	試験を行った日付と時間が設定されます。	
回線番号	試験を行った電話番号が設定されます。	
裏番号	裏番号が設定されます。	
新収容位置	収容位置情報が設定されます。	
判定名	『回線1』など試験に設定されている判定名が設定されます。	
発番号通知	設定されている発番号通知の内容が『ON』か『OFF』で設定されます。	
アクション1情報	呼種別	『非制限1』など設定されている内容
	サブアドレス	『*01』など設定されている内容
	結果	試験結果の内容が設定されます。 設定内容:NG/--(ハイフン)/*1/*2
	理由表示値	理由表示値またはエラーコードが設定されます。
リアクション1情報	同上	
リアクション2情報	同上	
リアクション3情報	同上	

8.4 試験リストについて

試験リストに表示される内容について説明します。試験タイプが回線交換の場合は図 8-7 のように表示されます。

また、試験リストに登録可能な試験電話番号は最大3000件登録可能です。

図 8-7 試験リスト

No		回線番号	裏番号	新取容位置	進捗状況	比較結果	理由表示(前)	理由表示(後)	アクション	リアクション1	リアクション2	リアクション3	判定条件
1	<input checked="" type="checkbox"/>	55556099	10000000	20000000					G4-FAX				回線1
2	<input checked="" type="checkbox"/>	55556095	10000001	20000001					G4-FAX				回線1
3	<input checked="" type="checkbox"/>	55556059	10000002	20000002					G4-FAX				回線1
4	<input checked="" type="checkbox"/>	55556055	10000003	20000003					G4-FAX				回線1
5	<input checked="" type="checkbox"/>	55556056	10000004	20000004					G4-FAX				回線1
6	<input checked="" type="checkbox"/>	55556958	10000005	20000005					G4-FAX				回線1
7	<input checked="" type="checkbox"/>	55556994	10000006	20000006					G4-FAX				回線1
8	<input checked="" type="checkbox"/>	55556995	10000007	20000007					G4-FAX				回線1
9	<input checked="" type="checkbox"/>	55556998	10000008	20000008					G4-FAX				回線1
10	<input checked="" type="checkbox"/>	55557065	10000009	20000009					G4-FAX				回線1
11	<input checked="" type="checkbox"/>	55557079	10000010	20000010					G4-FAX				回線1
12	<input checked="" type="checkbox"/>	55557985	10000011	20000011					G4-FAX				回線1
13	<input checked="" type="checkbox"/>	55557979	10000012	20000012					G4-FAX				回線1
14	<input checked="" type="checkbox"/>	55557484	10000013	20000013					G4-FAX				回線1
15	<input checked="" type="checkbox"/>	55557554	10000014	20000014					G4-FAX				回線1
16	<input checked="" type="checkbox"/>	55557579	10000015	20000015					G4-FAX				回線1
17	<input checked="" type="checkbox"/>	55557696	10000016	20000016					G4-FAX				回線1
18	<input checked="" type="checkbox"/>	55557848	10000017	20000017					G4-FAX				回線1
19	<input checked="" type="checkbox"/>	55557955	10000018	20000018					G4-FAX				回線1
20	<input checked="" type="checkbox"/>	55557066	10000019	20000019					G4-FAX				回線1
21	<input checked="" type="checkbox"/>	55557080	10000020	20000020					G4-FAX				回線1
22	<input checked="" type="checkbox"/>	55556057	10000021	20000021					G4-FAX				回線1
23	<input checked="" type="checkbox"/>	55557955	10000022	20000022					G4-FAX				回線1
24													

■表示項目説明

試験リストの表示項目について、表 8-2 に示します。

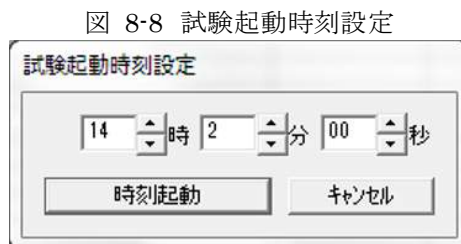
表 8-2 試験リスト表示項目

表示項目	説明
No.	試験毎に一意的 No. が割り当てられます。
試験の有効/無効	試験対象の項目を選択します。
回線番号	試験を行う電話番号が表示されます。
裏番号	裏番号が表示されます。
新収容位置	収容位置情報または大口ユーザコードが表示されます。
進捗状況	<p>実行時の動作状況および結果を表示します。 表示内容を以下に記述します。</p> <p>実行中 : 試験中を表わします。(緑色で表示)</p> <p>待機中 : 試験実行待ちを表わします。</p> <p>— : 試験が正常終了したことを表わします。</p> <p>NG : 試験が判定基準でNGになったことを表わします。(赤色で表示)</p> <p>* : 試験回線が切れていることを表わします</p> <p>*3 : ISDN回線の異常(断線またはリバース)</p>
理由表示	理由表示値が表示されます。
アクション, リアクション 1~3	試験を行うために使用される呼種別名が表示されます。
判定基準	試験の判定を行う判定名が表示されます。

8.5 試験時刻設定について

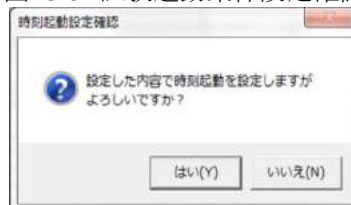
試験の実行に関する試験開始時間を設定します。

- (1) メニューの[実行(R)]-[起動時刻設定(C)]を選択、または Ctrl+T キーを押下すると、図 8-8 のダイアログが表示されます。



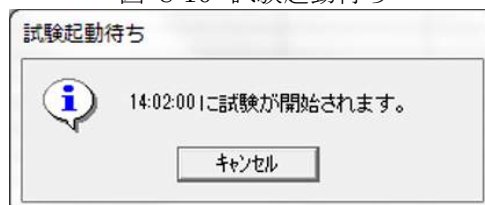
- (2) 起動時刻を入力します。
「時」、「分」、「秒」にフォーカスを移動し、時間の入力を行います。またスピンドットをマウスでクリックまたは↑、↓キーを押下すると値が Up/Down します。
- (3) 「時刻起動」をクリックすると、図 8-9 のメッセージが表示されます。設定した起動時刻に問題なければ「はい(Y)」をクリックします。「いいえ(N)」をクリックすると図 8-8 のダイアログに戻ります。

図 8-9 試験起動条件設定確認



- (4) 図 8-9 で「はい」をクリックした場合は、図 8-10 のメッセージが表示され試験待ち状態となります。「キャンセル」をクリックすると試験待ち状態が解除され、試験リスト画面に戻ります。

図 8-10 試験起動待ち



- (5) 図 8-8 のダイアログで、「キャンセル」をクリックまたはESCキーを押下すると設定した内容は無効となり、試験リスト画面に戻ります。

9 ISDNターミナルアダプタ(TA)の異常監視について

ランプの状況により以下の判断ができます。

表 9-1 ランプの状態

状態	POWERランプ	Readyランプ	Act ランプ
正常	緑色点灯	赤色点滅	滅火
ISDN回線異常	緑色点灯	赤色点滅	赤色点滅
USBの不良または未接続	緑色点灯	滅火	滅火
電源断	滅火	滅火	滅火

電源断、または USB が抜けている場合は、一度アプリケーションを終了させ、ターミナルアダプタ(TA)の電源を切ってください。のちに、再度ターミナルアダプタ(TA)の電源を入れ、アプリケーションを起動させてください。